

令和5年

決算特別委員会

9月8日

豊明市議会

決 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和5年9月8日

午前10時00分 開会

午後5時19分 閉議

1. 出席委員

委員長	清水 義 昭	副委員長	三 浦 桂 司
委員	岡 島 ゆみこ	委員	青 木 けんじ
委員	鈴 木 智 和	委員	中 堀 りゅういち
委員	浅 井 たかお	委員	こんどう のぶお
委員	近 藤 ひろひで	委員	服 部 龍 一
委員	いとう ひろし	委員	委 員 武 谷 としお
委員	郷右近 修	委員	委 員 林 ゆきひろ
委員	毛 受 明 宏	委員	委 員 堀 内 ち ほ
委員	ふじえ 真理子		
議長	鵜 飼 貞 雄		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	浅 井 俊 一	議 事 課 長	深 草 広 治
議事課長補佐 兼議事担当係長	寺 島 慎 二	庶務担当係長	福 田 悦 子
議事課主査	梅 本 憲		

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市 長	小 浮 正 典	副 市 長	土 屋 正 典
教 育 長	藤 井 和 久	行政経営部長	小 串 真 美
市民生活部長	宇佐見 恭 裕	健康福祉部長	中 村 泰 正
経済建設部長	伊 藤 正 弘	教 育 部 長	高 木 安 司
秘書広報課長	伊 藤 克 代	企画政策課長	萩 野 昭 久
公共施設管理課長	中 田 勝 次	情報システム課長	長 野 直 之
財 政 課 長	浦 倫 彰	総 務 課 長	山 田 隆 貴

防災防犯対策課長	堅 田 直 寛	税 務 課 長	加 藤 健 治
債権管理課長	小 川 正 寿	共生社会課長	松 本 小 牧
市 民 課 長	杉 浦 由 季	地域福祉課長	野 田 勇 樹
長 寿 課 長	伊 神 竜 一	健康推進課長	川 原 静 恵
こども保育課長	塚 本 由 佳	保険医療課長	近 藤 有 紀 子
子育て支援課長	松 村 清 子	産業支援課長	塚 谷 友 昭
農業政策課長	加 藤 直 美	土 木 課 長	星 子 恭 士
都市計画課長	中 野 忠 之	市街地整備課長	川 島 康 孝
下 水 道 課 長	外 山 紀 元	環 境 課 長	青 山 康 徳
会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	近 藤 恒 明	監査委員事務局長	平 下 義 之
指 導 保 育 士	柴 田 美 由 紀	財 政 担 当 係 長	矢 野 佑 輔
監 査 委 員	古 橋 洋 一	監 査 委 員	一 色 美 智 子

5. 傍聴議員

月 岡 修 一

6. 傍聴者

一般傍聴者 2名

午前10時開会

○決算特別委員長（清水義昭議員） おはようございます。定刻に御出席をいただきまして、ありがとうございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君） 皆さん、おはようございます。

本日からの決算特別委員会に付託されました議案は、一般会計をはじめ、特別会計7件及び企業会計の歳入歳出決算、認定議案9件でございます。令和4年度歳入歳出決算につきまして慎重に審査の上、認定をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 御苦労さまでした。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

鵜飼議長。

○議長（鵜飼貞雄議員） おはようございます。

今日は、決算特別委員会ということですが、私、委員ではないので質問ができません。ちょっとたくさん聞きたいことあるんですけど、ちょっと聞けないので、その分、皆様、聞いていただければと思います。

あと、すみません、余談になっちゃうかもしれないんですが、本日、沓掛事件のちょっと公務等々で途中中座させていただくこともあると思いますが御容赦ください。

以上です。お願いいたします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 御苦労さまでした。

ここで市長におかれましては退席を願いますが、答弁を求める機会がある場合には直ちに出席をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

（市長退席をなす）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の決算特別委員会の進め方につきましては9月7日の委員会で協議されており、その結果に従い進めさせていただきますので、御協力をお願いいたします。

一般会計については、原則として、款別に所管の部長等により説明を受けた後に質疑を行い、特別会計、企業会計については各会計別に進めます。

なお、総括質疑は、一般会計の各款別の質疑終了後行います。

討論については、特別会計、企業会計の質疑終了後に一括して行い、採決は会計ごとに行う予定でありますので、よろしくお願ひいたします。

次に、職員の方にお願ひをしておきますが、8日、11日及び12日の3日間で審査を行う予定であり、各委員の質疑にできる限り時間を確保したいと思ひますので、特に重要な部分を資料に従って簡潔に説明をしていただき、直ちに答弁ができないときは後から答弁をしていただくということで次の質疑に移りますので、協力をお願ひします。

議事の進行により説明者の入替えのために休憩を取りますが、速やかに行っていただきますようお願ひします。

また、当局におかれましては、議論を深めるために反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、反問されるようお願ひいたします。反問を終了するときも意思表示を明確にされるようお願ひします。

会議に入る前に御報告いたしますが、会計管理者所管の歳入簿及び歳出簿等が提出されております。後ほど各自で自由に御覧いただきたいと思ひますので、参考に願ひます。

それでは、会議に入ります。

認定議案第1号から認定議案第9号までを一括議題といたします。

初めに、認定議案第1号について、説明及び質疑を行います。

現金の保管及び一時借入金の状況並びに財産の保管及び移動について、会計管理者より説明願ひます。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） それでは、令和4年度の現金及び財産等の保管、移動状況について御説明させていただきます。

初めに、現金の保管状況を説明いたしますので、事前に配付させていただきました決算資料ナンバー1、令和4年度現金保管状況（各月末残高）を御覧ください。

これは本市における各月末の現金保管残高を記したものであります。一般会計と特別会計を合わせました、支払い資金に充てる歳計現金欄の各月末残高は、月平均で約34億円でありました。

歳計外現金欄の各月末残高、平均約3億円は、市県民税案分後の県民税や職員の所得税など、保管金の一時預り金であります。

基金につきましては、令和4年5月に、前年度より約23億円を積み増しし約111億円とし、5年3月に財政調整基金等の一部を取り崩しております。

また、一番右側にあるものは下水道事業会計のもので、月平均にいたしますと約4億円でございました。

続きまして、財産の移動状況を御説明いたします。

歳入歳出決算書の466、467ページ、財産に関する調書を御覧ください。

公有財産の土地の欄の決算年度中増減高が275.72平方メートル減、建物の延べ面積計の欄の決算年度中増減高が1,362.45平方メートル減となっています。

内訳は、468ページから485ページに記載してございますが、土地は、坂部の信号交差点の南東にありました歴史民俗資料収蔵庫の一部181.72平米、こちらが現況が道路であった部分、こちらを道路として管理することに移したことによる減少が主なものとなっております。

建物の減の主な要因は、老人憩いの家の譲渡10件及び取壊し6件によるものでございます。

ほかにつきましては、行政財産の用途廃止による普通財産への所管替えでございますので、実質的な面積の増減に影響はございません。

公有財産の(2)山林から(5)無体財産権までは、該当するものはございません。

(6)有価証券は、保有いたします名古屋競馬株式会社の株券であり、年度中の増減はなく、年度末現在高は32万1,000円でございます。

(7)出資による権利につきましては、豊明市土地開発公社をはじめ9団体に2,055万円で、前年と変動はありません。

(8)不動産の信託の受益権につきましては、該当するものはございません。

次に、487ページから495ページにかけまして、2、物品の保管状況であります。購入価格30万円以上の備品を記載しております。物品によりそれぞれ増減はございますが、495ページの最下段の計の欄、決算年度中増減高といたしましては差引きマイナス4で、年度末現在高は1,078点となっております。

続きまして、486ページを御覧ください。

3、債権につきましては、市民税の……。

失礼しました、496ページ、一番最終のページです、失礼いたしました。496ページをお願いいたします。

3、債権は、市民税の特別徴収分4月、5月分であり、1,218万8,000円の増で、年度末現在高は5億7,079万5,000円となりました。

4、基金につきましては、4年度中に16億252万4円増加し、年度末現在高は109億5,283万7,215円となっております。

以上で、現金及び財産等の保管、移動状況の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

なお、当局の的確な回答を得るため、質疑については、必ずページ数と項目を明示してから質疑を行ってください。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算資料のナンバー1の現金保管状況についてですが、特別会計、令和4年4月の特別会計でマイナスが現金で出てますけど、これはなぜマイナスになったのかということと、どのようにこれは対応されていますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） 現金保管状況の令和4年4月、左から2つ目の欄、特別会計のところが記載がマイナス734万円余となっておりますが、こちらにつきましては、7特別会計の合計値でマイナス730万余というふうになっております。この原因につきましては、その特別会計のうち、介護保険特会、こちらのほうの歳入、市からの繰入金1億3,000万円が、例年は4月にその繰入れ、入金、収入処理をしていたものが4年度につきましては5月にずれ込んだということで、合計としてマイナスの表記になっております。

また、資金の支払いの対応についてということの御質問でございますが、こちらにつきましては、表の歳計現金、それから、その右隣、歳計外現金、これにつきましては、1つの口座、1つの財布として運用いたしておりますので、マイナスにつきましても支弁が可能であったということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の介護特会で、いつも4月だったものが5月にずれ込んだってことなんですけど、その原因はわかりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） これにつきましては、事務は4月中に行ったんですが、実際の入金処理が事務が少し遅滞をいたしまして5月にずれ込んだということが原因でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それと、基金含めて合計で、かなり金額が大きいですけど、100億から150億ぐらい大体あるんですけど、この現金の運用と申しますか、それをどのようにされているのか。少しその利率がいいものにするだけで、このかなりの利息が変わってくるかなと思うんですが、その辺りは、どのように対応されてますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） お手元の資料の資金の管理につきましては、先ほども申しましたように歳計現金と歳計外現金で1つの運用、それから、基金につきましては、これをまた別の1つの運用という形で金銭管理をさせていただいております。歳計、歳計外現金につきましては通年の支払いということの対応になりますので、説明のところで申しましたように、おおむね37億ぐらいの平均の残高がございます。このうちの主に支払いに充当されないであろうというものについて、今、委員おっしゃるように少しでも財源確保という観点から定期預金に預け入れをして運用いたしております。令和4年度につきましては、最大で18億円を定期預金として運用させていただきました。

基金につきましては、こちらの表にありますように、おおむね110億程度の残高があるということで、こちらは、基本、全て定期預金に預け入れをし、令和4年度からは、一部、債権を購入して運用している状況であります。国債に1億円、地方債に1億円、都合2億円を令和4年度から債権運用という形で管理させていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） これにて現金の保管及び一時借入金の状況並びに財産の保管及び移動状況についての質疑を終わります。

続いて、一般会計の歳入全体について、小串行政経営部長より簡潔に説明を願います。

小串行政経営部長。

○行政経営部長（小串真美君） それではお願いいたします。令和4年度一般会計歳入全体決算について御説明申し上げます。

財政状況の概要から御説明いたしますので、主要施策の成果及び予算執行の実績報告書4ページ、5ページをお願いいたします。

4ページ上段の普通会計ベースの令和4年度決算状況の歳入総額を御覧ください。

令和4年度は278億1,914万5,000円で、前年度比3.2%、9億3,274万1,000円の減であります。

その主な要因は、市税が3億7,172万8,000円、繰入金が4億1,246万6,000円、繰越金が7億4,283万4,000円前年度に比べて増えているものの、国庫補助金が18億5,688万8,000円の減少、地方債が8億2,020万円の減少などによるものであります。

その2つ横の歳入歳出差引き11億7,861万円が形式収支となり、そこからその横の翌年度へ繰り越すべき財源2,906万8,000円を控除した11億4,954万2,000円が実質収支となります。実質収支額は、前年度に比べ6億109万3,000円減少しており、これがその横の単年度収支額となります。

続きまして、6ページの財政構造の状況をお願いいたします。

表の基準財政需要額と基準財政収入額の差が普通交付税額となります。普通交付税は18億6,264万9,000円で1億1,404万6,000円の減少となっております。

財政力指数は、先ほどの収入額を需要額で除したものであり、表中は3か年の平均です。

最下段の公債費比率は、標準財政規模に対する公債費の割合です。令和3年度に比べ0.4ポイント上昇しておりますが、健全運営の状況にあると言えます。

続きまして、7ページの市債の状況をお願いいたします。

上段の(1)全体の推移の表の最下段、年度末現在高は、令和3年度に比べ約10億円減少しております。

続きまして、9ページをお願いします。

上段の地方消費税交付金充当表をお願いいたします。

地方消費税交付金は、通常収支分と社会保障費とに分かれて交付されており、増税部分は社会保障費への充当となります。交付額における充当割合は、予算時点では54.5%を想定しておりましたが、決算では57.8%となりました。

続きまして、下段の基金残高をお願いいたします。

一番上の財政調整基金の年度末現在高は34億7,089万8,000円です。令和3年度末に比べ3億3,225万7,000円減少しています。教育施設建設及び整備基金は5億円、公共施設建設及び整備基金には4億5,381万円、福祉基金には7億200万円の積み増しを行いました。今後も、経済状況の変動、災害対応、施設等の長寿命化対策などの財政需要、さらには増加する福祉需要に対処するため、基金による財源確保を進める必要があると考えております。

続きまして、10ページをお願いします。

上段の都市計画税の課税状況です。

都市計画税は、都市計画事業を進める上で必要な財源の目的税として、その充当状況、使途を明確にするため、課税充当のありようを決算資料としてお示しするものであります。

それでは、一般会計歳入決算について御説明いたします。

前年度との比較ができますので、監査委員の審査意見書のほうを御用意いただきたいと思えます。

意見書の10ページをお願いいたします。

意見書をお持ちでない方は、決算書の8ページからになります。

令和4年度の決算額は277億9,390万8,515円で、前年度決算額と比較しますと9億3,293万9,393円の減となりました。

12ページをお願いいたします。

1款 市税につきましては、収入済額は111億1,369万7,510円で、前年に比べますと3億7,172万7,074円の増収です。

個人市民税が6,487万7,327円の増収、法人市民税が2,079万6,700円の減収、軽自動車税は1,792万6,080円の増収、たばこ税は2,001万8,112円の増収、固定資産税は2億6,311万6,080円の増収、都市計画税は2,658万6,175円の増収となっております。

続きまして、14ページ下段と15ページの上段、4款 配当割交付金と5款 株式等譲渡所得割交付金を併せて御説明いたします。

いずれも経済活動の動向により大きく左右される性質の交付金となりますが、前年度比で配当割交付金は260万7,000円の減収、株式等譲渡所得割交付金は4,423万8,000円の減収となりました。

続きまして、15ページ中段の6款 法人事業税交付金です。

交付額の計算方法の変更により、6,123万3,000円の増収となりました。

続きまして、下段、7款 地方消費税交付金です。

前年度比7,335万4,000円の増収、合計としましては16億7,566万1,000円の決算となりました。

続きまして、16ページの下段、10款の地方交付税です。

地方交付税は20億5,962万7,000円で、前年度に比べますと1億256万2,000円の減収です。

内訳は、普通交付税で1億1,404万6,000円の減、特別交付税は1,148万4,000円の増となっております。

続いて、少し飛びまして19ページをお願いいたします。

14款 国庫支出金の合計は46億5,363万8,000円で、前年度に比べますと18億3,799万7,000円の大幅減となりました。

これは、前年度に行いました18歳以下の子ども1人につき10万円の子育て世帯への臨時特別給付金事業の国庫補助金9億6,580万円の減、都市構造再編集中支援事業費補助金5億480万円の減が主な理由です。

その他、令和4年度の主なものとしまして、コロナ関連で非課税世帯等臨時特別給付金事業補助金4億8,054万3,000円、コロナワクチン接種の負担金及び補助金合計3億7,718万5,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4億6,742万4,000円があります。

コロナ関連以外では、障害児入所給付金等国庫負担金2億2,755万円等となっております。

続いて、20ページをお願いいたします。

中段、17款 寄附金は4億1,143万円で、前年度に比べますと3,984万3,000円の減となりました。

中央競馬会からの競馬場周辺整備事業寄附金は2億4,130万円の寄附を頂き、ふるさと豊明応援寄附金は2,113万3,000円の決算となりました。また、企業版ふるさと納税寄附金300万円や土木対策費寄附金7,581万円、衛生費寄附金6,050万円など、市民や事業所など多くの方から寄附金が集まりました。

(間違えた、収入済額がの声あり)

○行政経営部長(小串真美君) そうですね、申し訳ありません、今、20ページの寄附金で、私、3,980万3,000円の減と申しましたが、増の誤りです。訂正させていただきます。申し訳ありません。

続きまして、18款 繰入金は16億796万7,000円で、前年度に比べますと5億2,720万8,000円の増となりました。

財政調整基金からの繰入れは、前年度に比べますと4億3,389万9,000円の増となりました。水上太陽光発電事業特別会計から一般会計への繰入れは949万3,000円となりました。

続いて、右側ページ、19款 繰越金は18億9,119万8,000円で、前年度に比べますと6億2,545万3,000円の増となりました。このうち、1億4,739万1,000円は、前年度からの繰越明許費による財源となっております。

続いて、22ページ上段の21款 市債は7億9,930万円で、前年度より8億2,020万円の減となっております。

臨時財政対策債は3億4,960万円を、事業債は4億4,970万円を発行いたしました。

以上で一般会計の歳入全体の説明を終わります。

○決算特別委員長(清水義昭議員) ただいまの説明に対して質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

いとう委員。

○いとうひろし委員 ちょっとページ数は忘れましたが……。たばこ税の増収って言われ

たんですが、この理由を教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 監査意見書ですね。

答弁願います。

加藤税務課長。

○税務課長（加藤健治君） これは、令和3年10月に税率がアップしておりまして、令和3年度と令和4年度を比較すると、半年分、令和4年度分の税率がアップして本数に掛けておりますので税収が上がっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） なるべくページ数などを明示して質疑するようお願いいたします。

ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 意見書の12ページの市税のところ、先ほど御説明いただきました個人市民税の増と法人市民税の減、また、軽自動車税の増、たばこ税は、今、ありましたね、あと、固定資産税の増、それぞれその理由をお願いします。分析。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

加藤課長。

○税務課長（加藤健治君） では、順番にお伝えしていきます。

まず、個人市民税の増について概要ですけれども、納税義務者が100人程度増になっております。生産人口は250人程度減になっております。これから推察すると、高齢者の就業者数が増になったんだろうということと、あと、コロナによって経済状況が変わって収入が増えたんだろうというふうに考えております。これは個人市民税です。

法人市民税につきましては、市内の大手業者、この業績の低下によるものでございます。

あと、固定資産税ですけれども、固定資産税、大きく4つ要因があるというふうに考えております。

まず、1つは、土地については、令和3年度は、コロナの政策によって課税標準の上昇を据え置くという措置がありました。それが令和4年度はそれがなくなりまして、これで増になっておると。

もう一つ、家屋償却についても、コロナによって事業収入が減になったところは、これも課税標準の特例をして減になっておりました。これが令和4年度にはなく回復しておつて、これも増になっておると。

あと、家屋が新築が427棟あるということと、北部地区の大規模工場ができて、それによ

って税収が上がったというふうに、全て総合して固定資産税のこの増に影響しているというふうに考えております。

あと、軽自動車税ですけれども、軽自動車税は、環境性能割については令和3年度は税率が軽減する経過措置がありました。1%が非課税であったりとか、2%が1%であったりとかいうそういう軽減措置があったんですけれども、令和4年度は基本的にはそれはなくなって税収が増になったということと、代表的に、乗用の軽四が新税率になったものが1,350台増になっております。環境性能割非課税もありますので、この分の1,000台ぐらいが恐らく増になった影響してると思いますけれども、それを合わせて、恐らく全体的に環境性能割は増になっているというふうに考えております。

最後に、種別割ですけれども、これも先ほどお伝えしたように軽四の自家用の新税率のものが1,350台増になっていて、旧税率のものが減になっていると。その差額を総合して、全体的には二百数十台多くなってるんですけれども、総合して種別割の増になっているというふうに考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 実績報告書6ページ、上……。

（マイク、お願いしますの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） マイクに近づけてお願いします。

○中堀りゅういち委員 実績報告書6ページの一番上の段の一番下の公債費比率ですけれど、2.9%で健全状況運営ということですが、0.4%上がった何か明確な理由ございますでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 公債費率は健全な範囲ではありますが、御指摘の理由は、分母が標準財政規模になっておりますが、令和4年度は令和3年度に比べて分母の標準財政規模が小さくなったということが理由でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 令和4年度の決算書のページ数59の財産売却収入の土地建物売却代金238万2,755円なんですけど、これは、売ったのは土地なのか建物なのか、また、面積はど

れだけでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） これは、ちょっと面積は申し訳ありませんが持っておりますが、2種類、191万2,000円ほどのものと47万円ほどのものの2件ございまして、190万円ほどのものは、栄町の土地の売払代金で、もう一つが勅使墓園の用地というところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の19ページです。

法人市民税の滞納分について、収納率が従前よりも低下しているように思います。何か特別な理由があるようでしたらお答えいただきたいと思います。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

小川債権管理課長。

○債権管理課長（小川正寿君） 法人市民税の収納率が低いという御指摘でございますけれども、法人市民税の特徴でもあるんですけれども、業績が長く悪くなって滞納になる場合が多々ございます。業績が回復すると納付いただくこともございますけれども、そのまま活動がされていないような法人も多々ございますので、なかなか取りにくい税目であるというのが事実でございます。

また、今までそういった御納付いただけるところは折衝である程度進んできたというところもあるかなと思っております。

以上でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 歳入歳出決算書の59ページ、一番下なんですけど、17款 ふるさと豊明応援寄附金1,937万5,000円、これは、これ、ふるさと納税で出ていった金額は幾らですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

加藤課長。

○税務課長（加藤健治君） 個人のふるさと納税で税額控除、令和4年度課税の税額控除の金額は1億8,660万円です。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 一般会計の意見書ですけど、6ページの下段ですが、この部分って、質問、もうしてもよろしいですか。大丈夫ですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） どうぞ。

○中堀りゅういち委員 経常収支比率なんですけど、この表の部分の下段の、令和3年が81.1ですが、88.3とちょっと上がり幅が大きいと思うんですが、何か理由はございますでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 後ほど回答します。少しお待ちください。申し訳ありません。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 違う質疑、ございますか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 監査意見書の22ページの市債のところですが。

決算額8億円弱になっておりますが、これ、対前年度で約半減しておるんですけども、この今回、市債が大幅に減ったというのの背景というか、どういうふうに分分析されてましたか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には臨時財政対策債の減少が主な理由となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございせんか。

（先ほどの中堀委員の件も回答してもの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） どうぞ、続けてお願いします。

○財政課長（浦 倫彰君） では、先ほど経常収支比率のことについて御質問いただきましたが、今回、7.2ポイント増加をして、県内では平均的な順位でございます。その理由、変化の理由といたしましては、これも臨時財政対策債の発行可能額の減少によるものというところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 三浦副委員長。

○三浦桂司委員 副委員長の三浦です。

今の点ですけれども、臨時財政対策、発行可能額というのは、ピークのときは8億何千万ありました。3億4,000万で、発行可能額は、これ、上限でしたかね。3億四千何百万と先ほど言われましたけども。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 上限でございます。満額発行しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 臨財債の件ですけれども、昨年と比べて6億ぐらい減ってるんですね。これ、たしか交付税でもらえない分を臨財債でっていうような話だったかと思うんですが、今回、普通交付税を見ますと、昨年と比べて少し減ってるぐらいな形なんですね。これは、その交付税も減って臨財債もまた大きく減るとするのは、どういうその理屈なんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） これは、全体の標準的な財政規模をどう見込むかというところが影響しておりますので、基本的には全体の標準財政規模が豊明市としては小さくなっておりますが、その中で必要となる交付税分は税収が回復しておりますので、令和3年度に比べて交付税で措置された割合が大きいというふうに御認識いただければと思います。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 歳入歳出決算書の61ページ、寄附金なんですけど、これの企業版ふるさと納税寄附金300万、これは何に充てたんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） これは、昨年同様、カラットに充当しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の25ページですかね。先ほど、市民法人税が減っているとい

うところがあって、それは企業の業績というところは説明があったと思うんですが、決算書の29ページのほうの下から2つ目の法人事業税の交付金、こちらを見ると、かなり前年度と比べると増えてるんですけども、これはどういう理由なんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 法人事業税交付金につきましては、税収全体が増額しているということと、配分の割合に変更があって増額していると、2つの理由でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のその税収全体の増、増えてるっていうのは、どういう意味なんですかね。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 令和4年度においては国の税収が全体的に増加をしております。その中で当税も増加をしているので、県や市町村への配分が大きくなっているというところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連なんですけれども、その配分は、どういうふうに、どのふうに変ったんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 当該税率につきましては、基本的には法人税割と従業者数割がございしますが、法人税割が3分の2から3分の1、従業者数割が3分の1から3分の2に変更になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところでちょっと確認になってしまうんですが、この法人事業税の交付金というのは、企業のそういう経済状況とかそういうことは関係がないんですかね。関係があるなら法人市民税は減ってるので減るのかなと思うんですけど、関連して法人事業が増えてるっていう、そういうことなんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 法人市民税は、あくまでも市民税の中の話で、そういう計算が行われて税収が行われております。

一方で、法人事業税については国の税収が影響しておりますので、そういった影響だというふうに御理解ください。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実質赤字比率と……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ページ数、ページ数をお願いします。

○いとうひろし委員 ページ数……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ページ数をお願いします。

○いとうひろし委員 ページ数、どこだったかな……。ページ数、ちょっと忘れました。今度からちゃんと覚えとくようにします、すみません。

その実質赤字比率と、その連結実質赤字比率を先ほどお聞きしましたが、それぞれ愛知県で、名古屋市を除く順位は、どれぐらいになってるのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 初日の報告でも御報告させていただきましたとおり、実質赤字比率と連結実質赤字比率は健全な水準を保っておりますが、御指摘の順位でございますが、豊明市は、実質赤字比率は愛知県内で22位、連結実質赤字比率は36位でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 監査意見書の6ページの経常収支比率のところです。

先ほど7ポイント上がったということで好調かということで、臨財債の減によるっていうお答えもあったんですけども、ここの推移の表を見て、人件費、扶助費、公債費、その他がありますが、この扶助費の増っていう部分は、特にその扶助費の中でも何が上がっているのでしょうか。固定費の、この扶助費。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 扶助費については、ちょっとお待ちください、すみません…

…。
ちょっとすみません、後ほど確認をして回答します。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 関連してですけれども、今の監査意見書の6ページで、経常収支比率で、その他の部分が昨年より、ほかのものの上昇よりも大きく、3%ですか、3.9%上がってるんですけど、このその他の中でも特に上がってるものっていうのは、何があるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁できますか。よろしいですか。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 先ほどの1点目の御質問からお答えをさせていただきます。

扶助費の動向におかれましては、全体的には増額要因でございますが、例えば訓練等給付金などの上昇が主な要因の1つでございます。

もう一点のその他という部分でございますが、これは恐らく東部知多衛生組合の負担金などの増ではないかというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の25ページの真ん中辺りの固定資産税のところに戻出未済額っていうのがありまして、その下の軽自動車税でも、この戻出未済額というのがあるんですけども、これはなぜこういう形で出てるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

加藤課長。

○税務課長（加藤健治君） これは、簡単に言うと還付未済額でございます。途中で決算近くになると、平常、還付の手続を止めるんですけども、その未済額がそこに計上されたということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） これにて一般会計の歳入全体の質疑を終わります。

次に、一般会計の歳出に入る前に、職員の人件費についてを一括して小串行政経営部長より説明を願います。

小串行政経営部長。

○行政経営部長（小串真美君） それでは、令和4年度の職員給与の決算について、事前に配付させていただいております決算資料ナンバー2に沿って説明をさせていただきたいと思っております。

特に前年度と比較して増額、減額となった理由を中心に説明いたしますが、一般会計及び各特別会計間は、職員の人事異動によっても前年度との給与差が生じてきますので、全会計の合計額で説明をさせていただきます。

また、表の括弧の中の金額は、特別職の給与費を除いた金額を表示しておりますが、説明は、特別職の給与費を含めた総額で行わせていただきます。

それでは、説明に入ります。

令和4年度職員総数ですが、市長以下、再任用職員を含め456名です。令和3年度は450名でしたので6名の増となりました。

給与費の支出額合計は24億4,646万8,705円で、前年度と比較して2.4%増、金額にして5,650万円余の増額となりました。

次に、表の項目別に説明をいたします。

2の給料の決算額は14億8,999万5,521円で、前年度と比較して4,531万余の増となりました。

増額の要因の主なものとしましては、一般職の職員が増加したことによるものです。

3の職員手当等の令和4年度決算額は9億5,647万3,184円で、前年度と比較して1,124万円余の増額でした。

扶養手当の決算額は2,899万4,927円で、前年度と比較して65万円余の減額でした。

地域手当の決算額は1億5,415万593円で、前年度と比較して446万円余の増額でした。

住居手当の決算額は1,438万1,463円で、前年度と比較して28万円余の減額でした。

通勤手当の決算額は2,061万2,521円で、前年度と比較して32万円余の増額でした。

特殊勤務手当の決算額は62万5,175円で、前年度と比較して7万円余の増額でした。

超過勤務手当の決算額は7,964万1,370円で、前年度と比較して1,309万円余の増額でした。

管理職手当の決算額は5,201万6,719円で、前年度とほぼ同額です。

期末手当の決算額は3億2,025万5,351円で、前年度と比較して3,015万円余の減額でした。

勤勉手当の決算額は2億6,696万7,065円で、前年度と比較して2,281万円余の増額でした。

管理職員特別勤務手当の支給はありませんでした。

教員特別手当の決算額は34万8,000円で、前年度と比較して16万円余の増額でした。

児童手当の決算額は1,848万円で、前年度と比較して139万円余の増額でした。

決算資料ナンバーの2は、今の説明のとおりとなります。

なお、歳入歳出決算書に記載されております人件費につきましては、所属ごとの管理ではなく、予算科目での管理となり、前年度比較の増減は、全会計におきまして配置職員の属人的要因によるものが主なものになります。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ただいまの説明に対して質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー2の、この、まず人件費の合計は24億4,600ってあるんですけど、まず、これは、職員数の456人の人件費の合計ということで、まず、そういう理解でいいですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊藤秘書広報課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 金額は、4年度に支出した金額になります。人数につきましては、4月現在での人数ですので、10月に少人数採用している人数も一部おります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それと、決算カードの決算状況の裏面の上のところの人件費と、うち職員給っていう部分がありますけど、この、まず、うち職員給というのと、今回、その決算資料ナンバー2の、これ、一般会計だけかなと思うので一番左の下のところを見ると、それでかな、三役抜いた金額で見ると22億8,000と、ここで、まずかなりずれているんですけど、これはなぜかっていうことと、その上の人件費っていうの、41億のものがあありますけど、この差額というのは、会計年度任用職員を足すとこの金額になるというそういう理解でいいでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 決算カードの人件費のうち、職員数については、委員おっしゃったとおり議員報酬、それから、三役、会計年度除いた金額ということになります、

の、そのうちの一般会計分となりますので、特会分を合わせると、資料ナンバー2の数字に近い数字になるのではないかと思います。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 決算カードと人事が今回配付している資料が合わないというところでございますが、決算カード自体は普通会計で、なおかつ、投資的経費に係る人件費などは投資的経費の中の人件費というような形で分けて計上するなど、今回、人事が配付した資料とは必ずしも一致しないというところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算資料ナンバー2の時間外の手当についてです。

増額しているので資料要求の資料ナンバー3の1なんかも見てみたんですけど、やっぱり特定のシステム課とか税務課とか市民課とか地域福祉課辺りの増大が主な要因っていう理解で合ってるでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） おっしゃるとおりです。例えば、市民課、マイナンバーカードの発行事務でしたりカラットのオープンに向けた時間外の増だったりがありました。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの決算カードの人件費で41億っていうのが出てるんですけど、今回、頂いた決算資料ナンバー2のこの合計は24億4,600ってなってるんですね。会計年度任用職員が足りないのかなと思って、会計年度任用職員の報酬で資料ナンバー3の2、これを見ると9億1,000万ということで約10億、これを足しても34億くらいなので、あと、どういった人件費が入って、この数字になるのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 先ほどお答えしましたとおり一致がしない集計をしておりますが、その理由の1つは、決算カードの人件費については共済費などが含まれているということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） これにて職員の人件費関係の質疑を終わります。

ここで理事者側の説明者の入替えのために10分間休憩といたします。

午前10時54分休憩

午前11時4分再開

○決算特別委員長（清水義昭議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、歳出に入りますが、今後につきましては、議事進行に合わせて関係職員の入替えのために休憩を入れる場合もありますので、御承知おきを願います。

それでは、1款 議会費について説明を願います。

浅井議会事務局長。

○議会事務局長（浅井俊一君） それでは、1款 議会費について、歳出決算を御説明をいたします。

決算書の74ページ、75ページをよろしくお願ひします。

1款1項1目 議会費の決算額は2億1,874万7,616円で、対前年度比316万9,741円の減額となっております。

これは、主に、75ページ備考欄の一番上、議会人件費が約200万円ほど減額となったこと、さらには、その下の議会活動事業中の議会共済給付費負担金が約130万円ほど減額となったことによるものでございます。

以上で1款 議会費の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。

1款 議会費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 23ページ、議会費なんですけど……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 何の23かな。

○こんどうのぶお委員 これ、何ていうの、実績報告書でいいですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） はい。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の23ページです。

その人件費の中の共済費なんですけど、これは退職者とか遺族の方の共済だと思います

けど、今年は何人が対象者になっておりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

（こちらですねの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 深草議事課長。

○議事課長（深草広治君） すみません。こちらの人数なんですけれども、最新の人数で退職年金のほうの受給者数が11名で、遺族年金の受給者数が19名となります。

以上でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今の実績報告書の24ページで、行政視察を実施したということで、その効果は何か反映されているのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

深草課長。

○議事課長（深草広治君） こちらについては、やはり本市の今までの行政運営にはないようなものの先進的な事例を各議員の皆様が視察に行かれております。そういった部分を、また、ああいった、こういった当局側のほうにも御提言されるような1つの参考資料として勉強されてるというふうに思っております。

以上でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の3番目の行政視察で来庁ということで3議会様が来てるんですけど、この中の、そちらからのアドバイスとかそういったもの、何かあったのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

深草課長。

○議事課長（深草広治君） 今のアドバイス、こちらのほうの、いわゆる本市におけるいわゆる先進的な事例を、こちらのほう、お聞きになられたということが3事例でございます。主だったものとしては、ここに書いてあるカラットであったりだとか、あと、先進的ないわゆる包括ケア事業というのは全国的にも非常に珍しく豊明市としても視察の件数が多いところではございます。そういったところを持ち帰られて、それぞれの行政の自治体のほうで反映されてるというふうに思っております。

以上でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） これにて1款 議会費の質疑を終わります。

続いて、2款 総務費のうち、行政経営部、出納室、監査委員事務局所管部分について、順次説明を願います。

小串行政経営部長。

○行政経営部長（小串真美君） それでは、2款 総務費のうち、行政経営部所管の主なものについて説明いたします。

主要施策の成果及び予算執行の実績報告書25ページをお開き願います。

なお、決算書においては、76ページからとなります。

2款 総務費、1項 総務管理費、1目 一般管理費の中の財政課所管であります契約検査事業は決算額308万2,884円で、前年度比7万763円の減額となり、おおむね横ばいです。

その下、2目 秘書人事管理費は決算額8億4,217万52円で、前年度と比較しますと1,684万4,024円の増額です。主な要因としましては、職員の増加による人件費の増額です。

次に、27ページをお願いいたします。

4目 広報費の決算額は1,289万2,213円で、前年度と比較し11万2,924円の増額です。主な要因としましては、広報の印刷部数やページ数が増加したことによる印刷製本費の増額です。

28ページをお願いいたします。

5目 財政管理費は、決算額957万1,637円で283万9,306円の増、対前年比142.2%です。主な要因は、財務会計システムの2年間の延長利用が令和4年9月に終了し、新たに財務会計システム借上げ6か月分が発生したためです。

続きまして、29ページをお願いいたします。

7目 財産管理費の決算額は12億4,248万7,639円で、対前年度比17.7%の減、2億6,714万100円の減額となりました。減額の主な理由としまして、令和3年度に共生交流プラザカラットの整備事業があったこと、一方で、令和4年度からは長寿命化対策事業や中学校トイレ改修が始まったことが相まつの減額となります。主な事業としましては、中学校トイレ改修工事、本庁舎外壁改修工事、本庁舎、福祉体育館、保育園、小中学校における空調設備の新設や改修工事、豊明小学校及び大宮小学校におけるエレベーター更新などの改修工事、中部保育園園舎改修等工事、移動系防災行政無線更新工事などがあります。

続きまして、32ページをお願いいたします。

8目の企画費です。

決算額9,427万9,456円、前年度比90.1%で、1,038万2,583円の減となりました。これは、主に、多世代交流プラザカラットのオープンに伴う費用、備品購入費、不用品処分委託等が令和3年度にはありましたので、これが不要になったことによるものです。

ここで、8目 企画費の記載に誤りがございましたので訂正をお願いいたします。ページ中央、企画費の下から6行目、ひまわりバス運行事業の循環バス運行負担金の金額の単位、こちらは「千円」となっているかと思いますが、正しくは「円」でございます。7,320万8,458円が正しい数字になりますので、訂正をお願いいたします。誠に申し訳ございませんでした。

次に、32ページをお願いいたします。

10目 市民相談費の決算額は366万2,006円で、前年度と比較し23万2,812円の減額です。主な要因としましては、相談業務を担う会計年度任用職員1名の報酬等の減額によるものです。

続きまして、36ページをお願いいたします。

12目 電算管理費の決算額は1億1,497万1,331円で、前年度と比較し565万737円の増となりました。行政手続オンライン化に係る環境整備のための委託料や次期あいちセキュリティクラウドの構築移行に係る県への負担金の増が主な要因です。ビジネスチャットツールの導入やDX推進研修の実施、RPA開発者支援など、DX推進のための環境づくりを進めました。

次に、充用額の説明をいたしますので、同じ資料の10ページにお戻りください。

決算書のほうは91ページになります。

10ページ、中段の表、1段目、文化会館屋上防水改修工事費327万8,000円は、文化会館の談話室部分の屋上で防水槽の経年劣化による漏水が生じ漏電の危険性が高くなったことから緊急工事をさせていただきました。

次に、不用額の状況を御説明いたしますので、決算書の78ページ、79ページをお願いいたします。

1項2目 秘書人事管理費の4節 共済費の不用額679万7,937円は、当初予算作成時の負担金率が確定したことによる不用額です。

86ページ、87ページをお願いいたします。

7目 財産管理費の12節 委託料の不用額579万6,283円のうち、216万2,200円は、工事設計業務委託費の執行残によるものであり、令和3年度繰越し198万6,300円を含みます。

3段下、14節 工事請負費の不用額8,114万8,729円のうち、7,911万7,800円は、工事費

の執行残によるものであり、こちらも令和3年度の繰越し7,901万6,000円を含んでおります。

次に、繰越額を説明いたします。翌年度繰越額を説明いたしますので、そのまま同じページ、86、87ページをお願いします。

1項7目 財産管理費のうち、12節 委託料の翌年度繰越額5,888万7,000円のうち、5,709万円は、文化会館大規模改修工事設計委託料4,445万1,000円、栄中学校エレベータ更新等工事設計委託料273万9,000円、舘小学校校舎設置調査業務委託料572万円、文化広場グラウンド管理棟長寿命化調査委託料418万円の計4件の合計になります。

14節 工事請負費の翌年度繰越額2億1,937万3,000円は、中学校トイレ改修工事費です。最後に、長期継続契約について御説明いたします。

別紙でお配りしております長期継続契約一覧表を御覧ください。

1枚物であるやつですね。

物品の借入れの資料のほうで、5番目と6番目にごございます仮想基盤及びネットワーク機器を更新し、庁内システムの安定稼働に努めました。いずれも借上げの期間を令和5年3月から令和10年2月末までの5年間としております。

以上で行政経営部所管総務費の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 近藤会計管理者。

○会計管理者兼出納室長（近藤恒明君） それでは、出納室所管部分について御説明させていただきます。

決算書は85ページ、実績報告書は28ページをお願いいたします。

説明は、実績報告書で進めさせていただきます。

6目 会計管理費であります。決算額は2,222万円です。前年度比167万円の主な増額要因は、システムの通信に使用していますISDN回線が利用終了となることに伴う新電送システム構築移行に伴う総合収納システム改修業務委託140万余の事業分であります。電算関係委託料は約1,524万円で、約33万件の処理をいたしました。

以上で出納室所管部分の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 平下監査委員事務局長。

○監査委員事務局長（平下義之君） では、続きまして、監査委員費について説明します。実績報告書の43ページを御覧ください。

6項1目 監査委員費の決算額は約2,213万円で、対前年度比98.3%です。主なものは、監査委員の報酬と監査委員事務局職員の人件費です。

監査の実績につきましては、定例監査、例月出納検査及び決算審査等を実施しました。

以上で監査委員費の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。

2款 総務費のうち、行政経営部、出納室、監査委員事務局所管部分の質疑に入ります。
質疑のある方は挙手を願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の26ページ、職員研修事業の真ん中辺の愛知県市長セミナー、これはどんなセミナーだったのでしょうか。それと、報告書は公表されていますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊藤秘書広報課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） これは、市長が出席しているセミナーになります。内容につきましては、DXの推進に係る内容であったと思います。その内容について、セミナーの内容の公表については、特に行っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書のページ数、25です。

秘書人事管理費の任期付市費負担教員任用人数が、これ、前年度より4人増えたっていうことだったんですけど、この方たちは、どんな方ですか。あと、年齢がどれぐらいかと、あと、任期は何年契約ですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 少人数学級の実施に係る市費負担教員ということで、教職員の方になります。年齢については、ごめんなさい、ちょっと、私、把握しておりませんが、任期は1年です。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書の33……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） マイク、マイク。

○鈴木智和委員 実績報告書の33ページ、市民活動推進費……。

（それ、まだ行ってないねの声あり）

○鈴木智和委員 行ってません、行ってない……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） それ、市民生活部ですね。

○鈴木智和委員 まだですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 後ほど、後ほどでお願いします。

○鈴木智和委員 失礼しました。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の27ページ、文書費は、あれじゃない、今回、行政経営部ですか。

（次ですぬの声あり）

○林 ゆきひろ委員 じゃ、失礼しました。

29ページの財産管理費のところですけど、公共施設管理事業が幾つか挙がっておりますけども、このうち、予防保全でやったその改修工事はどれかっているのは分かりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田公共施設管理課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 御質問、予防保全を主に目的としたものを御回答させていただきます。よろしいですか。

分かりました。

事後保全の混ざるものもあるんですが、主に予防保全という観点で前面にということであれば、30ページの上から6行目、この庁舎の本館の外壁の改修工事、あとは、中段にボッチの後に公立保育所施設の保全とありますが、その園舎の改修工事、あとは、31ページの上段、上から3段目になります防煙シャッター等改修工事、主に、こういうものを予防保全的な要素がメインということで工事をいたしました。

以上で終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の28ページ、上段のほうの実績報告書の180部と、令和3年の報告108部が230部になっているんですけど、令和4年度の予算、当初予算の予算書が195部だったんですけど、そこから、今回、230部に変わったんですけど、この増えた理由は何でしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 増額の理由ですが、今回の統一地方選で議員の方々代わられ

ますので、その分の必要分を増額しているというところでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の27ページの4目 広報費の広報とよあけの発行についてお尋ねします。

ここで毎月2万6,500部の発行部数がありますけれども、世帯数としては約3万世帯市内にあるわけですが、公共施設だとかいろんな当然予備があるかと思うんですけれども、その発行部数、当然、その毎月、残数が出てくるかと思えます、町内会でもあります。そういった、今、数字が分かればいいですけど、その毎月どのぐらいのその残数が生じているかっていうことの把握はされてますか、把握。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 後ほどお答えします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 29ページ、財産管理費の公共施設管理のところですけど、資料請求をして、コロナウイルスの臨時交付金の使途ということでホームページに掲載とあるんですが、できれば、これ、配付していただきたかったなと思うんですけどもないので質問しますけど、この公共施設管理事業の中でコロナの臨時交付金を充ててるものっていうのは、どれか分かりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） では、コロナを充当しているというものですので御回答いたします。少しお待ちください。

では、御回答いたしますが、よろしいですか。

まず、空調……。総務費ですから、これは30ページになりますが、実績報告書の30ページになりますが、庁舎の空調管理システム改修工事。

（何ページかの声あり）

（30ページって言ったよの声あり）

（どこら辺か言ってもらわんとの声あり）

○公共施設管理課長（中田勝次君） 上から3分の1ぐらい、4分の1ぐらいのところに書

いてあります庁舎空調管理システム工事、まず、こちらでございます。

続いては、同じ30ページのもう少し下の辺りに旧調理実習室転用・改修工事というのがありますが、こちらでもコロナの臨時交付金を充当しております。

それ以外は、あとはトイレ改修工事、31ページが一番下の四、五行目、下の四、五行ぐらいにあります、まさしくここにコロナ感染拡大防止対策の一環と書いてありますが、こちらの2,877万8,200円、トイレ洋式化等工事というものがこれに該当いたします。

あとは、同じく31ページのもう少し上の辺りに、ボッチの辺りに文教施設の保全、整備及び環境向上というところがありますが、その下の段に福祉体育館の空調設備更新工事、こちらでも充当しております。

あと、保育園になりますので、前のページ、30ページにまたお戻りいただきたいんですが、ちょうど中段やや下辺りに保育園のエアコンの更新工事2,033万2,400円、こちらでも充当しております。

ページが前後ろ行って申し訳ございませんが、あとは学校ですから、そうですね、すみません、31ページの下から3分の1辺りに、同じく……。ごめんなさい、学校ですから、ごめんなさい。真ん中辺り、ごめんなさい、真ん中辺りにエアコン更新工事、市内全小中学校とあります。1,673万1,000円がコロナの充当でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書の29ページの真ん中辺りの財産管理事務事業の中に草刈作業業務を委託したということで5件で63万6,400円とありますけれども、実際、場所をお示しくください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 市民生活部ですので、後ほど入れ替えた後にお願いします。はい、すみません。

○鈴木智和委員 失礼しました。

○決算特別委員長（清水義昭議員） はい。

ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の135ページ、工事のところですか。実績報告書135の……。135、136にも渡ってるんですが、ここ、いいですね。

小規模老人憩いの家が5つ解体されました。5つの憩いの家の延べ床面積が92平米ということでどれも一緒なんですけれども、その解体工事費の幅がこの5つで500万円台から

上は880万円と、こういうその幅があるわけですが、その理由を説明してください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 簡潔に説明いたしますと、高い価格帯のほうは、外壁の吹きつけ材にアスベストが含まれていました。その除去費の分だけ高くなっております。低いほうは入ってなかった。これが簡単な区分けでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じく、憩いの家の関係です。135ページ、下から3つ目、三崎の憩いの家なんですけれども……。

その前に、この5つの憩いの家の解体工事っていうのは、解体に設計見積りっていうのは出してるんですか。その造るほうは、よく設計委託料とかあるんですけども、壊すのに設計っていうのは、この件に関してあるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） こちらは内製設計で施工業者から見積りをこちらで直接取りまして、中で内製の設計をしております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 136ページの真ん中辺りにあります内山の憩いの家の解体工事のとなんですけれども、先ほど言われたアスベストがあるからなんだろうけど880万ということ、その契約したときよりも40万、41万円ほど追加になっているわけです。これは、どうしたことが起きたんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） お答えいたします。

こちらは、最終的には土地を長寿課からお返しすることになっているんですけど、こちらの撤去して整地した後の排水勾配が、もともとの排水勾配があまりよくなくて、排水勾配をある程度確保してから整地してお返しするということになりました。その分の金額の上昇ということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連なんですけど、こちらも内製でその解体の設計をされたのかということと……。まず、お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 委員のおっしゃるとおりでございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 その最初のその内製でやったときに、そういった勾配というのは分からないものなんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 建物のちょうど下の部分でありましたので、撤去をして初めて分かった部分というのがございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今回のページで6番のエレベーター更新、倉庫改修等が1点と、あと、もう一つ、29番の空調設備更新工事、西川の笹原のどこ、あと、41番の駐車場整備等工事、これも見積りと、あと、実績金額が下がるんで、その差どのぐらい、どうしてでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） まず、6番見ますと、大宮小学校のエレベーターの更新工事でございます。

ちょっとお待ちください。

こちらの、これは、いわゆる変更で何が増えたかということによろしいでしょうか。そういうことですね。はい、分かりました。

主なものを読み上げます。

地下の埋設物や廃材の撤去処分を追加。いわゆる、工事やるにどうしても幾ばくか地下を掘るんですけど、かつての工事だとか残材が出てきて、その処分に要したのもの。あとは、倉庫を位置変更したんですけど、その関係で擁壁の位置の変更を少し伸びたということでございます。

あとは、倉庫の設置位置の地盤……。結局、当初は、上物が軽いのでそこまでは考えて

なかったんですけど、設置位置の地盤が少々ちょっと心もとない状態でっていうことであ
りましたので、その補強、いわゆる地盤改良ということを行いました。主なものは以
上です。まず、これが1つ目です。

次は、136ページの、すみません、何番だったでしょう。

(29番の声あり)

○公共施設管理課長（中田勝次君） 29番というのは。

(と41番の声あり)

○公共施設管理課長（中田勝次君） 福祉体育館の空調設備更新工事の変更の増額は、屋
上の冷却塔について、当初、設計をするに当たり見積りを取ったときの冷却塔で当初発注
して契約したんですが、実際、契約受託されたところが、いろいろ見ていただいたところ、
少し能力が足りないのではないか、全体に対して足りないのではないかということで、冷
却塔を1基から2基に変更したものでございます。

最後は41でしたでしょうか。

(41ですの声あり)

○公共施設管理課長（中田勝次君） これは、いわゆるカラット、共生交流プラザのカラ
ットの駐車場でございます。こちらは……。

ちょっと少々お待ちください。

こちらは、当初から、ある程度は想定はしていたところあるんですけど、ビオトープの
中に既存のますがありまして、実際、全部撤去をして、いざ舗装するレベルを取るとい
うときに、やはりますの高さが高いということで、ますの高さを調整するなどのことの変
更が生じました。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 待ってくださいね。実績報告書の……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） マイク、マイク。

○浅井たかお委員 すみません、実績報告書の、待ってくださいよ……。

すみません、30ページの下のほう、移動系防災行政無線更新工事についてですけど、こ
れはどんなものなのかということと、あとは、何か所かということですね。あと、無線機器の
規則改正というのは、いつ頃改正したのか、あと、内容を教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁できますか、大丈夫です。

(はい、大丈夫ですの声あり)

○決算特別委員長（清水義昭議員） 分かりました。市民生活部じゃなくていいですね、はい、分かりました。

中田課長。どうぞ、中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） お答えいたします。

最後の3番目の質問に関しましては、ちょっと、今、年数のほう、覚えがありません、申し訳ございません。

1つ目、2つ目についてお答えします。

工事に関しましては、まず、こちらの新館の1階にある災害対策本部の親局を3局、小中学校等避難所や消防署、幹部交番など、いわゆる各施設にある半固定局と呼ばれるものを49台、あとは携帯型を25台、こちらの更新というものでございます。

それと、無線というのが同報系という無線と移動系という無線、2つありますけど、今年は、この移動に関する無線の更新ということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 31ページです。よろしいですか。

上から5行目ぐらいの国庫補助事業トイレ改修工事、市内全中学校計3件、これなんですけど、どこの部分を改修したんでしょうか。全部なのか部分的なのか教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 少し長いですが読み上げます。

中学校、まず、豊明中学校なんですけど、管理教室棟と呼ばれる一番グラウンド側の校舎の1階から3階のトイレ。グラウンドから3つ目の棟、我々12棟と呼んでいますが、こちらの12棟校舎の1階から3階、計6か所のトイレの完全洋式化及び乾式化。

栄中学校に関しましては、これも管理教室棟と呼ばれるグラウンド側の校舎、こちらが東側、これが東と西があるんですけど、東側が1階から3階。あと、もう一つの給食センター側の校舎ですね。こちらはトイレが真ん中しかありませんので、こちらの1階から4階。あとは、部室棟の横の屋外トイレ、計8か所でございます。

最後、沓掛中学校でございますが、グラウンド側の管理教室棟が、これも東と西がありまして、東の1階から4階と、もう一つ小さい校舎が4階建てがありますけど、こちらの1階から4階、計8か所でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のところの関連です。3中学校のトイレ改修工事。

こちらも、それぞれ契約金額にプラスして追加が3中学校ともあります。その中身を見てくださいと、これ、昨年度もありましたけれども、設計の数量と差異が生じたためというのが私が見た範囲で5回以上あるわけですけれども、この大きな工事、1億円を越す工事、それぞれの中学校の改修工事で、当然、その前のときに設計もしているかと思うんですが、このことについては、どういうふうに検証はされてますでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 委員の御指摘のとおり幾つかそのようなものがございました。こちらとしても、当然、反映させるために設計の受託者にその旨伝えまして、できる限り資料を用意しましてお示しはしているんですが、残念ながら、竣工時は資料がある……。竣工時は、大規模改修は資料があるんですが、間のこの小さな改修というのは、やっぱり各建物、30年や40年、50年経過してまして、幾ばくかあります。そこが、保存年限だとか、主管課のほうで保存してないということがありまして、一部どうしても反映ができてないということが毎回発生しているというのが現状でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員、関連ですか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 その図面というのか、その保存がないってということ、その保存がないってことに対しての市のその捉え方、しようがないわっていうふうに思っているのか、どういうふうに捉えているかっていうことと、今回のその設計数量と違ったために増額を市が全額払ってるわけですけれども、これは、その設計が甘かったっていうふうには捉えることはなかったんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） まず、当然、それでしょうがなかったという解釈は全くしておりません。こちらとしても100%変更が今後ないことを目指してやっていますが、やはり改修工事等は、今後のことも含めて、全くないという発言はここではできません。

今回の内容に関しましては、設計受託者の責というものの認識はございませんので、あ

くまでこちらの問題だということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今のとこの答えが聞いてないんですけど、全部なのか部分的なのか、それ、答え、どうでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） トイレの変更が全部か一部かということですね。

（はいの声あり）

○公共施設管理課長（中田勝次君） 全てに関して、大きな変更の、いわゆるプランの変更だとかそういう本質的なことはございません。非常に仕事をしていって解体とかしていく中で細かなことの集合体ということでございます。

以上です。

（全部のトイレを洋式化と乾式化したのかの声あり）

○公共施設管理課長（中田勝次君） ああ、そういう。失礼しました。

○決算特別委員長（清水義昭議員） どうぞ。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 失礼しました。最初に、豊明中学校のときにちょっと説明したんですけど、そこのトイレの全てのトイレの洋式化と乾式化でございます。すみません。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの公共施設管理事業の……。

（ページ、ページの声あり）

○林 ゆきひろ委員 ページ、29ページから30、31のところで、コロナの臨時交付金で充てられてる事業を挙げていただきましたけども、31ページの一番上の、まず、この大宮小の仮設、これ、ホームページ見ると、これも当たてるように見えるんですけど、これも当たてるということでもいいですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） 失念しておりました。大変申し訳ございません。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 当たっているということでもいいのかなというね。当たっているということで、よろしいですね。

○公共施設管理課長（中田勝次君） はい、そうです、すみませんでした。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 コロナの臨時交付金ですけども、感染対策防止ということなんですけど、この校舎を建てるというところもですし、トイレの洋式化、それから、エアコンの更新ということで、その効果っていうのは、どういったそのコロナ対策の効果があるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） 当時は、3密の回避だとか換気、そういった視点に重きを置かれていたかと思います。仮設校舎のほうも、密を回避する、空調につきましては、換気を常時行いますので、そのための設置なり改修工事という認識を持っております。

終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

関連。

林委員、どうぞ。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、トイレの洋式化のほうは、どういう効果なんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

小串部長。

○行政経営部長（小串真美君） トイレにつきましても、洋式化することで明らかに飛散が減るということで、もうこれは国のほうも臨時交付金対象事業として認めておりますので、一定の効果があるんじゃないかというふうに思っております。

終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の136ページです。

実績報告書の一番下、豊明市駅周辺の……。

あっ、これ違うか、今と。すみません。今、質問してもいいですか。防犯は違うか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 違いますね。

○ふじえ真理子委員 失礼しました。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書32ページ、8目 企画費、真ん中辺のひまわりバス事業とかチョイソコの関係なんですけど、ひまわりバスは1人当たりの税金負担分が500円、

チョイソコは1,500円になります。それらについては、どのように分析をしておりますか。負担金が違うという。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

萩野企画政策課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） チョイソコとひまわりバスの1人当たりの単価が違うっていうことでよかったですかね。

（税金負担分でしょうの声あり）

○企画政策課長（萩野昭久君） ですかね。

チョイソコは、ひまわりバスのように定期定路線で運行するものではなく、利用者が希望時間に合わせて予約を取っていただき、乗り合いになれば少し寄り道をしながら目的地まで最短ルートで行くといったものになります。あと、バスが運行できないような狭い道路も運行できます。そのため、大量輸送ではありませんが、利用者の1人当たりの単価は、バスと比較すると高くなるといった形です。ですので、もうそもそもが違うものですので、チョイソコのほうが単価が高くなってるというものになります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 チョイソコの事業なんですけど、乗車距離は、1人当たりどのぐらいでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 距離まではちょっと把握してないんですけども、平均の乗車時間っていうのは、大体7分ぐらいというのは聞いております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書のページは25ページです。あれをいきます。

秘書人事管理費、少人数学級を実施したというところで、よいことだと思うんですが、これ、1年度のまとめとして、どうよかったか、つかんでいたら教えていただきたいと思います。例のやつです。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） すみません、人事秘書課のほうでは人件費についての把

握ということですので、内容については、10款の教育費のほうで御質問いただきたいと思います。

(分かりましたの声あり)

○決算特別委員長（清水義昭議員） 10款をお願いします。

(あと1つの声あり)

○決算特別委員長（清水義昭議員） 伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 先ほど、ふじえ委員からお尋ねのありました広報の残数を把握してるかという御質問、お答えいたします。

残数については把握をしております。月によって残数は……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ページ数をお願いします、すみません。

○秘書広報課長（伊藤克代君） すみません。実績報告書の27ページになります。

広報とよあけの残数を把握しているかという御質問でした。

残数については把握はしております。破損であったり、そういった交換用に予備を持っております。月々残数は波はあるんですけども、100部ほどが残数として残っているという状況です。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ありがとうございます。広報とよあけ発行のことで把握はされてるということ。これ、もちろんその変動が毎月毎年あるんですけども、毎月2万6,500部発行しているということで、その年によってその基準は何を基準にしているんですか。何か町内会加入率だとか何か分かんないんですけども。結構、その残数が町内会レベルであるんですよ、あるところもあるんです。そういったものが積み重なってくと、かなりの市全体であるんですけども、その、必要なものは必要なんですけども、その無駄の部分の、先ほど残数は把握してるっておっしゃってるんですけども、その辺の基準、毎年毎年、令和4年度は2万6,500部、これ、1年間ずっと同じ部数、契約で同じ部数の理解でいいでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 発行部数につきましては、令和4年度は、毎月2万6,500部でした。令和3年度のときにはもう少し少なくて、順次、年の途中で少しずつ部数を増やして、この2万6,500に至っているというふうです。

一応、配布のほうは、町内会、自治会を通じて配布しているので、その加入している人

数ですとかは年々多少増減すると思いますし、月々多いから減らしてくれ、あるいは、少ないから次回からは何部増やしてくださいというような連絡は常々受けて、広報を配布する部数は調整をしております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほど令和3年度は、その月々で変動で調整をしていた、令和4年度は、年間を通じて毎月この2万6,500だったということで、その細かい調整はできない契約だったという理解でよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊藤課長。

○秘書広報課長（伊藤克代君） 3年度、細かい調整というよりは、年度当初2万6,300だったものが2万6,400、500……。100単位で増やしていったんですけども、契約自体は単価契約になっておりまして、カラーページが1部幾らとか2色刷りのところは1ページ幾らという単価契約での契約ですので、部数を最初に決めての契約にはなっていません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中田課長。

○公共施設管理課長（中田勝次君） すみません。先ほどコロナの臨時交付金の充当事業ということでお話があって、大宮小学校、忘れてるんじゃないかということで御指摘受けただんですけど、あと2点抜けておりましたので追加させていただきます。

実績報告書30ページの中段、保育園の空調設備等改修工事の中で、LEDと、これ、空調を合わせたものなんですけど、こちらの空調側にも充当しております。さらに、32ページの上段です。網戸設置工事、こちらにも充当してあります。

申し訳ございませんでした。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書のページは32ページで、じゃ、先に、チョイソコの話です。チョイソコの利用者が増加しているということですが、高齢者が交通手段を引き続き必要としていることの結果ではないかというふうに思えるんですが、どのように令和4年度をまとめて見ておるのでしょうか。

それから、地域ごとの利用率に差があったりしないかどうかということ、それと、決まった方が繰り返し利用しているか、満遍なく利用されているかみたいなことは分かるでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 利用者数が伸びているのは、やはりコロナがかなり回復してきたのっていうのと、あと、高齢者の方がかなり外出をされてるのかなということだと思います。

すみません、あと……。

（地域の声あり）

○企画政策課長（萩野昭久君） 地域ごとなんですけども、やはり杵掛地区と仙人塚地区ですかね、そちらのほうの利用者が多い形になっております。

（リピーターの声あり）

○企画政策課長（萩野昭久君） ちょっとリピーターが多いかどうかというのは、そこまでちょっと把握しておりません、すみません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 その上のひまわりバス、これも利用者増ですけど、この説明にも書いてあるとおり路線変更でカラットが含まれた要因っていうのは結構大きいんでしょうか、どうでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） そうですね、カラット行かれる方、カラットの利用者もかなり多いものですから、そういったときにひまわりバスを利用されてる方は多いと思います。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー2の①のチョイソコの運行事業の内訳ですけども、まず、この運行費用と燃費等ありますけども、ここからどのようにして、この乗合交通負担金の1,500万というのが算出されるのかという計算方法を示していただきたいのと、協賛金が増えておりますけども、恐らく停留所が増えたことかなと思うんですが、何か所増えて、どのような理由で増えたんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 負担金の計算の方法なんですけども、運行経費にオペレーション費と燃料費をプラスしまして、そこから、収入、収受運賃と協賛金の一部を引いた形で負担金のほうは計算しております。

停留所の数なんですけども、令和4年度が令和4年度末で全部で125か所、令和3年度末で119か所になりますので6か所増えておりまして、内訳を見ますと、事業所の停留所というのが増えておりますので、それだけ事業者の方などがチョイソコのほうに興味を持っていただけたのかなと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それと、利用者数、先ほど増えてるっていうことなんですけども、1経路の充足率みたいなのはあるんですか。どれぐらい、さらにもっと乗車できる状況なのかどうなのか、どうですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

萩野課長。

○企画政策課長（萩野昭久君） 乗合率でいいですかね。

（はい、乗合率の声あり）

○企画政策課長（萩野昭久君） 乗合率のほうも令和3年度が1.45で、令和4年度のほうが1.49で、多い月で1.57伸びておりますので、乗合率のほうも伸びております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバーの1の1で、実績報告書だと25ページの上の契約検査事業に当たりますけども、まず、この事業者の中で市内の事業者の受注割合はどれぐらいなのかということと、この評価、総評の評価点があるんですけど、これは、まず、1か所だけ空白があるんですね、裏面の。

ごめんなさい、市内受注率、書いてありました、失礼しました。

評価点が1か所だけ書いてないのがなぜかということと、誰がどのようにこれは評価されておりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 空白になっておりますのは、4年度から5年度に繰り越したことが理由でございます。

評価は職員が行っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の32ページの下段、公平委員会費のところですけど、公平委員会に何か苦情等の申出はあったのかどうかお答えください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 公平委員は総務だね。市民生活部所管ですね。

（じゃ、次の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） これにて2款 総務費のうち、行政経営部、出納室、監査委員事務局所管部分の質疑を終わります。

ここで、昼食のために午後1時まで休憩といたします。

午前11時59分休憩

午後1時再開

○決算特別委員長（清水義昭議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、2款 総務費のうち、市民生活部所管部分について説明を願います。

宇佐見市民生活部長。

○市民生活部長（宇佐見恭裕君） それでは、2款 総務費のうち、市民生活部所管分の主なものについて御説明いたしますので、主要施策の成果及び予算執行の実績報告書の27ページを御覧ください。

2款1項3目 文書費は、対前年度496万4,899円の増額となりました。主な理由は、令和5年4月1日から施行された改正個人情報保護法に伴い、個人情報ファイル簿の作成、個人情報保護条例例規整備支援業務を委託したものでございます。

続きまして、29ページをお願いいたします。

7目 財産管理費のうち、市民生活部所管分の庁舎維持管理事業のうち、光熱水費は1,240万円の増額となりました。主な理由は、世界規模で燃料の高騰が発生したことによる電気料金及びガス料金の大幅値上げによるものです。利用者に一律に適用される燃料調整費の値上げ幅が非常に大きく、結果的に大幅な増額につながりました。本市としては、安価で安定した電力調達をするために、継続的に調達方法を研究しております。

続きまして、33ページをお願いいたします。

市民活動推進費は、対前年度5,720万6,330円の増額となりました。主な理由は、共生交流プラザのオープンの初年度に係る整備費用、光熱水費等の運営費用及び指定管理料によるものでございます。

続きまして、37ページをお願いいたします。

13目 防犯対策費は、対前年度761万9,110円の増額となりました。主な理由は、市内3駅周辺に設置した駅周辺防犯カメラ設置工事によるものでございます。

続きまして、同ページの下段、2項1目 税務総務費は、対前年度1,764万7,595円の増額となりました。主な理由は、豊明市全域航空写真撮影業務委託及び豊明市標準宅地鑑定評価業務委託によるものでございます。

続きまして、33ページをお願いいたします。

(戻るのの声あり)

○市民生活部長（宇佐見恭裕君） 38ページです、ごめんなさい、38ページです。を御覧ください。

2目 徴収費は、対前年度1,652万5,809円の増額となりました。主な理由は、軽自動車税関係手続の電子化及び地方税共通納税システム関係のシステム改修によるものでございます。

続きまして、同ページの下段、3項1目 戸籍住民基本台帳費は、対前年度3,795万4,163円の増額となりました。主な理由は、戸籍総合システム更新事業とコンビニ証明書発行交付事業に関わる電算関係委託料の増額によるものでございます。

続きまして、41ページをお願いします。

4項3目 参議院議員選挙費は、対前年度で皆増となりました。主な理由は、7月10日に投開票した参議院議員選挙の執行経費でございます。

同じく、その下、4項4目 愛知県知事選挙費は、対前年度で皆増です。主な理由は、令和5年2月5日に投開票した愛知県知事選挙の執行経費でございます。

続きまして、42ページの4項5目の愛知県議会議員選挙費、その下、6目の市長市議選挙費は、令和5年度執行の各選挙の事前執行経費となります。

続きまして、当ページの最下欄、5項3目 諸統計調査費は、対前年度107万6,396円の皆増となりました。主な理由は、令和4年就業構造基本調査の実施及び令和5年住宅・土地統計調査に関わる準備調査の実施年度であったためでの増額でございます。

続きまして、45ページをお願いいたします。

7項1目 交通安全対策費は、対前年度8,569万1,606円の増額となりました。主な理由は、自転車駐車場整備センターへの駐輪場再整備事業負担金によるものでございます。

なお、主要委託事務事業実績は111ページから、主要補助事業実績は129ページから、主要工事等実績は135ページから掲載をしております。

以上で2款 総務費のうち、市民生活部所管分の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。

2款 総務費のうち、市民生活部所管部分の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 ええとですね……。

（マイク、マイクの声あり）

○岡島ゆみこ委員 防犯対策費なんですけれども……。

（ページ数の声あり）

○岡島ゆみこ委員 すみませんね、忘れました。37ページです。

防犯対策費ですが、防犯カメラを設置されていることよっての実績というのは分かり
ますか。防犯カメラの設置されてるこの駅周辺の……。

（効果の声あり）

○岡島ゆみこ委員 効果。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 効果でよろしいですか。

○岡島ゆみこ委員 実績。はい、効果。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田防災防犯対策課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 効果につきましては、まず、防犯カメラを設置する
ことによって、市民の皆様ですとか駅を利用される方、こちら、市外の方も当然いらっし
ゃいますけど、そういった方の安全・安心を守るといのが大きな効果となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 駅周辺に10基設置されてるってということですが、各駅に何基ず
つ設置されてますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 各駅10基ずつとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の駅前の防犯カメラですけども、これ、運用のルールとかは何か定めているのかということと、その警察等そういったところとの連携っていうのはどのように図っていますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 運用ルールという形でありまして、豊明市のほうは公共施設における防犯カメラの設置という要綱をつくっておりますので、そちらにのっとっております。

警察との協議とかそういう形になりますと、もともとの防犯カメラの設置に当たりまして、警察との協議に当たって、ここら辺にあったほうが一番防犯効果が高いという形で最初から協議のほうを進めております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 警察との連携ということで、そのデータとかの共有だったりとかそういう何か連携、どういうときにそういったことをやっていくのかというのは何かあるんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） ここの防犯カメラに関わらず、基本的には私どものほうで見るということはございません。ただ、今、お話しがありました警察のほうから開示の依頼等がございましたら、そちらに対してお渡しするという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 33ページ、お願いします。

市民活動推進費の中で夏まつりの実績が書き記されておりますけど、燃料高騰というところで考えますと、花火等のこの値段とかそういうところっていうのは大丈夫だったんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松本共生社会課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 花火の燃料費とか花火……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ちょっと待ってください。ちょっとごめんなさい。マイク。

（何か電池がないんじゃないの声あり）

（発言する者あり）

（マイク、来ましたの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） はい、どうぞ。

○共生社会課長（松本小牧君） 花火の実施に係る費用でございますが、花火本体というよりは警備に係る費用が増額しているというふうに把握しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 ただいまの質問の関連で、委託……。

（ページ数の声あり）

○鈴木智和委員 すみません。33ページのただいまの関連で、夏まつり関連ですけれども、委託内容は、どうなってますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 夏まつりの委託の内容でございますが、花火の打ち上げ、周辺警備、それから、動画撮影、編集等となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 37ページの先ほどの防犯対策費なんですが、予算額に対して決算額が120万ほど少ないんですが、なぜでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 桁が違うでしょう、桁が違うでしょう。

○岡島ゆみこ委員 違いました。1,200万です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 今のお話ですが、予算額が3,104万円に対して決算額が1,779万3,685円の理由ということでよろしかったでしょうか。

（はい、そうですの声あり）

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） まず、こちらにつきましては、当初予算の中で803万

円で駅周辺防犯カメラ設置工事、これ、前後駅に20基設置するものでございます。これが令和4年度の当初予算をお認めいただいたやつなんですけれども、これを令和5年度に繰越しをしております。

もう一つ、当初予算で1,264万8,000円だったやつ、これが先ほど御説明させていただきました各駅10基の防犯カメラなんですけど、こちらが821万3,700円か、そちらのほうは、こちら当初予算に比べて440万ほど減っております。その分を合わせますと1,246万ほどという形になっておまして、その3,100万から差し引きますと1,857万ほどとなります。それに対しての決算額という形になりますと、ほぼ100%近いという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今回の防犯対策費で地域安全監視員に2人で、朝の通勤時間から夕方、夜間ということなんですけど、この体制というか就業時間というか、その状況ってどうでしょうか。

もう一つ防犯モデル地区、西川区ということなんですけど、このモデル地区って、どういった形をやられるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） まず、1つ目の質問で地域安全監視員ですけども、こちらにつきましては、お二人おまして、お一人につきましては朝の7時から15時まで、もう一人の方につきましては12時から夜の8時という形で交代でやっております。

モデル地区につきましては、こちらにつきましては、各区から毎年申請のほうをいただきまして、重複した場合につきましては抽選で選考といたしますか、そういう形でさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 ちょっと具体的にモデル地区って、どんな感じになるんですかね、ほかの。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 具体的な活動としましては、各区から防犯に対してのどういった活動するかということの内容をいただく形になりますので、こちらのほうからこれをということではございません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

毛受委員。

○毛受明宏委員 37ページの防犯対策費、上から1、2、3、4、5。5つ目、地域の防犯灯の新設、修繕の件なんですけど、新設が29の修繕が48。48のほうというのは、これ、まだ蛍光灯タイプのほうのことを言っとるのかなとは思いますが、違います。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 今、毛受委員のおっしゃったとおり、ほとんどが蛍光灯、あるいは、水銀灯からのLEDへの転換という形になっております。

以上です。

（もう一つの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 LEDにも換わってはきていると思うんですけど、全体の何%ぐらいがLEDになられたかなというのがちょっと知りたいです。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 現状ですけども、約95%ほどがLED化されております。

以上です。

（ありがとうございますの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

青木委員。

○青木けんじ委員 37ページの防犯対策費なんですけども、防犯カメラの新設や補助というふうにありますけど、新設が2区分は、これ、どちらのほうに申請されてるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 令和4年度につきまして、阿野区と西沓掛区になります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の41ページ、選挙啓発費です。

夏に参議院選挙がありまして、また、年明けには知事選挙もございましたが、これ、減額になっている理由をお聞かせください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

山田総務課長。

○総務課長（山田隆貴君） すみません、もう一度ちょっと御確認なんですけども、減額になっている理由、予算現額と決算額との差ということでよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 郷右近委員、よろしいですか。

○郷右近 修委員 はい。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 郷右近委員、何目の話でした。

○郷右近 修委員 何目だ……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 3目と4目。

○郷右近 修委員 選挙……。ちょっと待ってくださいね……。

2目のほうです。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 2目、2目で。2目 選挙啓発費だそうです。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 申し訳ありませんでした。選挙啓発費ということでお答えをさせていただきます。

こちらにつきましては、選挙の啓発ということで、通常、ポスターの募集をかけたの記念品とかそういったものはお出しはしておったんですけれども、二十歳になられる成人の方のはがきを別の選挙、通常は選挙啓発費の中からお金の通信運搬費等を出しておるんですけれども、そこを、今回、国政選挙がございましたのでそちらの選挙費で賄いましたので、予算的には大幅に減額となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の選挙啓発費の関連なんですけれども、啓発ということで、全てではないなんですけれども、やはり投票率を上げてくってというのが目標であるかと思うんですけれども、今、おっしゃった、そのはがきが国政と合わせたとかポスターの景品っていうのか言われたんですけれども、具体的に令和4年度に選挙啓発費をどれだけ具体的に組み入れたんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） この金額が下がっているのにも連動はしてくるんですけども、まだ令和4年度、コロナ禍でありましたので、ふじえ委員の先ほど御指摘のありました啓発の中身ということで、通常、コロナ禍でなければ明るい選挙推進委員さんとかそういう方たちと街頭啓発を行ったりとかそういったことができたんですけども、今回のこのコロナ禍における選挙中では、ちょっとそういったことができませんでした。ただ、こちらのポスターにつきましては募集のほうを掛けておりましたので、そちらのほうでは、県のほうに、また提出をさせていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 関連なんですけど、ページ数は決算書のほうの113ページと115ページなんですけど、同じ1年間でポスターの掲示場の設置委託料が506万円と319万円、結構差があるんですけど、この理由を教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） それぞれの選挙におきましてポスターの枠の数の違いがございますので、そこが価格差として反映されております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書33ページ、34ページ、こちらで、上のほうの共生交流プラザ管理運営事業です。34ページね。

これに関して、年間どれぐらいの利用額があったんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 利用額というのは、利用収入のことでよろしかったですか。

（そうですね、それで結構ですの声あり）

○共生社会課長（松本小牧君） 貸し館の利用収入につきましては、全体で892万50円になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の34ページの4番、コミュニティ助成金、こちら、今回、西川区と桜ヶ丘区、2区になっておりますが、昨年度は阿野の1区だけだったんですね。これは、どのように選考されて決まってくるのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） コミュニティ助成につきましては、毎年、市から県を通じまして、財団法人自治総合センターのほうに毎年2団体を優先順位をつけて申請しております。センターのほうがその年の枠を決めておりまして、それに応じた決定が来るということになっております。令和4年度につきましては、2団体が決定されたということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 先ほど、私の選挙啓発の答弁の中で誤りがありましたので、発言のほう、訂正をさせていただきます。

選挙の啓発はがき、二十歳の方に出すと言いましたけども、成人年齢18歳に下がっておりまして18歳の方から出しておりますので、そのように訂正いたします。申し訳ありませんでした。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の37ページの先ほどの防犯対策費の駅周辺のカメラのところに戻ってしまいますが、3駅に各10基ずつつけたよというのと、あと、繰り越した部分があって、資料要求した資料ナンバー1の1の裏面の54番、ナンバー。先ほど、委員のいろんなやり取りでも出てきたんですけれども、資料ナンバー1の1の裏面の左のちっちゃな数字の53と54のところですよ。

54のところは御説明があった、繰り越してるっていうことは分かったんですが、その上は3駅に10基ずつ令和4年度つけました。下の前後駅の周辺防犯カメラで先ほど20基というふうに言われたんですが、前後駅に、このプラス20基、全部で30基っていう理解でいいですか。このナンバー54のところも令和4年度には入札は終わっているんで、確認です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 今、委員のおっしゃったとおり、前後駅につきましては、プラス20で30基となります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書34ページの3番の共生交流プラザについてですけど、この共生交流プラザの広さとか延べ床面積は分かりますかっていうことと、その公共施設の1平米当たりの来館者数とか利用者数、他の公共施設と比較検討というのはされてますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 延床面積については把握をしております。ですので、計算のほうはできておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、収入が890万ほどありましたけども、たしかその収入が少ない場合は補填をすることだったかと思うんですが、そういったものはありましたか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 利用料収入ですが、当初720万を想定しておりました。それを下回った場合には補填をするということになっておりましたが、結果、上振れましたので補填はなかったということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その下の6番目、地域社会活動公用車貸出なんですけど、公用車、青パトと、あと、公用車の軽トラックは、何台ありますかということと、あと、軽トラックの利用率って、どのぐらいなんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） まず、台数でございますが、軽トラが1台、防犯車が2台です。

利用率ですが、利用数でお答えしますと、軽トラが26件、防犯パトロール車が218件でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の129ページの補助事業実績の11目 市民活動推進費に

区一括交付金の補助金額が出てますが、同じ実績報告書の36ページにも一括交付金の説明が出てます。金額が違っちゃってますが、総額5,044万6,400円で、確認です、合ってますよねってこと。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 実績報告書に書いてある金額が交付金の総額になります。そして、補助額のほうの一覧表に出ていますのは100万以上の実績というふうになっておりますので、1区当たり100万以上の場合はここに計上されるということで数字が違っておられます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 松本課長、どうぞ。

○共生社会課長（松本小牧君） それから、申し訳ございません、先ほどの共生交流プラザカラットの延べ床面積ですが、6,562平米でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の129ページの11目の市民活動推進費で、先ほどの西川区のほうにコミュニティ助成金として230万、先ほどの質問ですが、34ページのね、だったんですけど、こちらは450万になってるんですが、これは別の事業なんでしょうか。

（2つだの声あり）

○いとうひろし委員 足しとるの。

（もう一つあるの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁お願いします。

松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） 西川区ほか1と書いてありますので、西川区と桜ヶ丘区が合わせてということになります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書27ページの3目 文書費についてです。

この真ん中に個人情報保護法において作成、公表が義務づけられてる個人情報ファイル簿を作成したとありますけども、個人情報保護ファイル簿というのはどういったもので、どういったことが載っているのかということと、これはどこに公表というのはされてるん

でしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 委員から、今、質問を受けました個人情報ファイル簿につきましては、個人情報ファイル、個人情報が入った、例えば軽自動車税を払っている方の個人情報の入ったものを個人情報ファイルというんですけれども、そういったファイルが幾つあって、市のほうでどういったものを管理しているかといったものをまとめた目次のようなものが個人情報ファイル簿というふうになっております。そちらにつきましては、5年4月1日から、これ、改正個人情報保護法が適用されておりますので、今、市役所の情報コーナーと、あと、ホームページのほうでも閲覧できるようになっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この公表されているということは、どっかでその周知とかPRっていうのはされてますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

山田課長。

○総務課長（山田隆貴君） 現在のところ、ホームページ上ではそういった説明はされておるんですけれども、もう少し広く広報できるように努めていきたいと思えます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の45ページ、1目 交通安全対策費の真ん中よりちょっと上の自転車の、令和4年度放置自転車の撤去台数と返還台数があります。これ、撤去して返還した数があるんですけれども、その差し引いた自転車っていうのは、どこへどういうふうに行ったんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 今、お話がありました返還されなかった自転車につきましては、私ども清掃事務所がございます。清掃事務所のほうで、基本、解体させていただいて、鉄くず等にして売却させていただいてという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今の処分費って、かかるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 清掃事務所は直営になりますので、処分費はかかっておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の35ページの多文化共生推進事業、これで令和3年度はフード・ギフト事業があったと思うんですけど、今回、フード事業は中止になったんですかね、これ。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 松本課長。

○共生社会課長（松本小牧君） フード・ギフト事業につきましては、令和3年度で終了しております。令和4年度は実施しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書45ページの交通安全対策費で駐輪場の再整備事業ですけども、半期、10月からでしたかね、始まっていると思うんですけども、この事業者の収支、収入はどれぐらいで、どれぐらいの運営コストがかかっているかというのは分かりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） 前後、豊明、中京競馬場の収支という形でよろしいかったですでしょうか。

（はい、はいの声あり）

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） ちょっとお待ちくださいませ。

ごめんなさい。後ほど、データありますので、ちょっと探すのに少しお時間いただければと思います。後ほどお答えさせていただきます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 後ほどでお願いします。

ほかにございませんか。

(関連の声あり)

○決算特別委員長(清水義昭議員) 関連……。今、ちょっとあそこ忙しいので。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書35ページの真ん中下、多文化共生推進事業の2番の通訳業務事業、ここの3者間の通訳業務の実績とかこの辺の実績、教えていただけますか。

○決算特別委員長(清水義昭議員) 答弁願います。

松本課長。

○共生社会課長(松本小牧君) 電話通訳の昨年度の利用件数は748件でございます。

以上です。

○決算特別委員長(清水義昭議員) ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の40ページ、外国人者数の内訳、資料ありがとうございます。資料請求した資料ナンバー1の3、実績報告書は40ページの上の表です。

40ページの上の表のその他がぐんと伸びているので、ちょっと知りたくて資料も請求しました。豊明の人口に占める、その外国人の割合のパーセンテージを知りたいのと、あと、この資料で見てちょっと気になったのが、一番下に無国籍っていう欄があるんですけども、何が知りたいかっていうと、いろんな国名の四十数か国があるんですけども、そういった先ほどの通訳だとか防災、何か災害が起こったときだとか、もしもお子さんがいれば学校の教育にもなるんですけども、誰一人取り残さないというそのスローガンの中で、こういった少数の方たち、また、ちょっと無国籍の方、分かんないですけど、そういうフォローというのかは、令和4年度、できているんでしょうか。

○決算特別委員長(清水義昭議員) 答弁願います。

杉浦市民課長。

○市民課長(杉浦由季君) 外国人の占める割合なんですけど、人口からいまして5.3%となっております。

無国籍者に関しては……。後ほどお答えいたします。

○決算特別委員長(清水義昭議員) 松本課長。

○共生社会課長(松本小牧君) 後半の多言語化対応が十分にできているのかという御質問でございますが、まず、その行政情報を多言語にすることに関しましては、先ほどの電話通訳やタブレットを活用した通訳で対応しております。

ただ、相談業務、もしくは、いろんなその深い対面での通訳を通じた相談というのについては、こういった電話通訳やタブレット通訳ではなかなか対応し切れていないのも現状

で、多言語化対応については、その2つの機器に頼ってるというのが実情でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） すみません、先ほど実績報告書の45ページの御質問いただいた件になります。令和4年度の半期分になりますけども、収入がおよそ2,800万、支出につきましては2,500万ということで、差引き250万ほどの利益という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今のとこの関連で、駐輪場再整備事業負担金の8,800万のその根拠というのは、どういうふうなんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） こちらにつきましては、駐輪場につきましては、20年間の管理運営を整備センターのほうに依頼といいますかお願いしてる形になっております。こちらの20年間の運営期間における利用料収入等の見込みを差し引きまして、あと、経費ですね、今後かかる機器の保守であったりとかそういったことは豊明市の負担は一切ございません。そういったのを全て整備センターがやるという前提で20年間運営してくに当たってどれぐらい必要かというふうに計算したところ、8,800万という形になったということになります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 先ほどの無国籍なんですけれども、こちら、外国人の出生があった場合に、まだ国名は決まっておりません。在留カードのほうを発行するまでは国名のほうは定まっておりませんので、この統計を取ったときに2名が該当したと思われれます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの45ページの駐輪場再整備のことで、建設コスト、整備にかかった費用というのはどれぐらいだったんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

堅田課長。

○防災防犯対策課長（堅田直寛君） およそ2億3,000万ほどになっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の36ページ、電算管理費です。

DX推進ということで毎度毎度伺ってるんですけど、令和4年度での新たに自動化、省力化を進めた業務は、どんな……。これ……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 行経、行政経営部。

○郷右近 修委員 失礼しました。

（じゃ、別のをしての声あり）

○郷右近 修委員 別のほう。

○決算特別委員長（清水義昭議員） どうぞ。

○郷右近 修委員 38ページの徴収費、尾三地区滞納整理機構でどのような滞納整理業務をしたかお答えいただきたいです。各差押えの件数が何件、金額があんまりまとまんないというお話だったんだな。差し押さえた物品の換金した金額なんかが分かればお答えいただきたいです。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

小川債権管理課長。

○債権管理課長（小川正寿君） 令和4年6月から滞納整理機構を発足しております。困難事例を移管して滞納業務に当たっております。やっておくことはそんなに違いがございませんで、納税折衝をできるだけしていただくと。なかなか連絡が取れない状況もございますので、それをできるだけ連絡を取れるようにしていくと。取れない方については、差押え等を実施していくということになります。

機構で行った差押えの件数ですけれども23件で、税に充当した金額でございますけれども220万円ほどでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今の滞納整理機構の件なんですけど、これについての成果と、あと、もう一つは、生活困窮者との連携がしっかり行われてるかどうか、その辺は。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 小川課長。

○債権管理課長（小川正寿君） 滞納の折衝の中で生活困窮の場合もございますので、そういった場合は、よりそい等と連携しながら、どういった生活再建をするかというような支援もしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 すみません、先ほど関連で聞けばよかったんですが、資料ナンバー1の3の下から4行目にウクライナの方が1人在住ということですが、これ、分かっただけですけど、例えば、難民という言い方が適切かどうか分かりませんが、戦争でこちらに転入されたとか、そんな情報はお持ちでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 杉浦課長。

○市民課長（杉浦由季君） 個人情報の方は持っておりません。お答えしかねます。

以上です。

（分かりましたの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 38ページの徴収費なんですけど、スマートフォン決済アプリが利用できるようになった、その今の実績が知りたいんですけども。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

小川課長。

○債権管理課長（小川正寿君） スマートフォン決済ですけども、市税一般に関しては4,709件の御利用がございまして、割合とすると1.62%の御利用でございます。

以上でございます。

（ありがとうございますの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 同じ実績報告書の38ページのその徴収費のところなんですけど、コンビニ収納の件数、どれぐらいあったのか教えていただきたいのと、それによって市役所の窓口の件数は、昨年と比べて増えたのか減ったのか教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 小川課長。

○債権管理課長（小川正寿君） コンビニ収納の市税のほうでございましてけれども、件数としまして5万1,343件、パーセントでいうと17.7%で、若干伸びております。

先ほどのスマホ決済も0.18%ほど伸びておりますけれども、逆に、銀行窓口ですとか市役所の件数までちょっと詳細には把握しておりませんが、窓口の納付が減って、こういったところに御利用される方が増えているという実態があると思います。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○決算特別委員長(清水義昭議員) これにて2款 総務費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午後1時40分休憩

午後1時44分再開

○決算特別委員長(清水義昭議員) 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、3款 民生費について説明を願います。

中村健康福祉部長。

○健康福祉部長(中村泰正君) それでは、3款 民生費の決算について御説明しますので、実績報告書46ページをお開きください。

3款1項1目 社会福祉総務費です。

決算書は122ページとなります。

決算額は9億2,005万4,492円で、前年度より2億1,361万円余の増額となりました。主な要因は、次ページ、47ページ中段、重層的支援体制の整備に伴う地域共生社会推進事業799万7,000円の増額、国民健康保険特別会計繰出事業のうち、その他繰出金が前年度に比べて1億8,743万6,000円の増額によるものです。

続きまして、実績報告書47ページ下段、2目 老人福祉費です。

決算額は10億3,918万3,322円で、前年度より2億1,400万円余りの増額となりました。主な要因は、実績報告書48ページ上段の介護施設等整備事業費補助事業9,987万1,000円、同じく、実績報告書49ページ中段の地域包括支援センター事業など1億303万円余りを重層的支援体制整備事業の実施に伴い介護保険特別会計から一般会計へ移行したため増額となったものです。

続きまして、実績報告書50ページ、3目 心身障害者福祉費です。

決算額は18億4,942万2,233円で、前年度より4億4,542万円余りの増額となっております。主な要因は、心身障がい児通所・居宅サービス事業費4億3,745万円余りが子育て支援課の児童福祉総務費から事務移管したことに伴うものです。

続きまして、実績報告書53ページの4目 福祉医療費です。

決算額は7億9,517万5,289円で、前年度より9,010万円余りの増額となりました。これは、福祉医療助成費のうち、子ども医療で前年度比2,530万円余りの増額と自立支援医療費が地域福祉課の心身障害者福祉費から事務移管したことに伴うものでございます。

続きまして、53ページの下段、5目 後期高齢者医療費です。

決算額は9億3,643万3,128円で、前年度より1億92万円余りの増額となりました。これは、療養給付費負担金で8,927万円余りの増額、保険基盤安定繰出金で1,053万円余りの増額によるものです。

続きまして、54ページ、1目 児童福祉総務費です。

決算額は19億2,535万6,464円で、前年度より13億1,188万円余りの減額となりました。減額の主な要因は、児童福祉事務事業における負担金補助及び交付金であります前年度に実施した18歳以下の子ども1人につき10万円の子育て世帯への臨時特別給付金などコロナ対応の給付金による約9億円と、扶助費の心身障がい児通所・居宅サービス事業費約4億円を地域福祉課心身障害者福祉費に事務移管したことに伴うものでございます。

続きまして、56ページ、2目 保育園費です。

決算額は24億5,763万2,231円で、前年度より1億460万円余りの減額となりました。主な増減は、施設型・地域型保育給付費で1億4,526万円余りの増額となりましたが、認可保育所等整備補助金で2億302万円余りの減額、保育園営繕工事費で5,602万円余りの減額となりました。

なお、公立保育園におきましては使用済みおむつの持ち帰り廃止や民間園への給食費等の支援に努めました。

続きまして、実績報告書57ページ、1目 生活保護総務費です。

決算額は1億3,934万4,528円で、前年度より2,767万円余りの増額となりました。増額の主な要因は、包括的就労推進事業の実施によるものでございます。

続きまして、実績報告書58ページ、2目 扶助費です。

決算額は11億3,074万8,693円で、前年度より1,272万円余りの減額となりました。減額の主な要因は、非課税世帯等臨時特別給付金の支給額が1世帯10万円から5万円となり、5,860万円の減額となったためでございます。

次に、充用について御説明いたしますので、実績報告書10ページ下段を御覧ください。

充用額の状況、3行目、民生費、社会福祉総務費は、重層的支援の対象世帯に、ごみの処理費等緊急的な対応を行ったものでございます。

その下、児童福祉総務費は、大宮児童館の空調機器の故障、その下の保育園費は、公立園3園の空調機器が故障し、熱中症などを考慮し緊急的に予備費から充用したものでございます。

以上で民生費についての説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。

3款 民生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書の47ページ、中段の地域共生社会推進事業799万7,000円なんですが、どういった内容でしょうか、具体的にお知らせください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

野田地域福祉課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 重層的支援体制整備事業の一環として開始しております。早急に対応を迫られてる複合的要因を抱えている生活困窮とか、いろいろな困難事例の解決対応のためにそれを委託しておるものでございます。

実績としましては、まず、関係機関へのヒアリングを行いました。14機関、庁舎内の各課や社協、包括支援センターなどに関係者とヒアリングを行いました。

また、プロジェクト会議としまして、年3回、関係者が集まって会議を行っております。

また、一つ一つのケースとしまして、とよあけつながる会議を15回、昨年度行いました。その中で専門的な知識を必要とするような事例につきましては、スーパーバイズ相談会としまして、医師であったり弁護士だったりそのような方々を集めていただきまして、6回、相談会を行いました。

また、地域に出て、ゆるやか見守り会議というのも12回行いました。

年度の途中で、とよみんカンファレンスとしまして、市の職員やいろいろな包括支援センターの職員と共にカンファレンスも1回行いました。このような形で昨年度は重層的支援体制の整備事業を行っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の重層的体制支援のところですけども、この799万7,000円というのは、何人これは配置といいますか、されているのかということと、そういう複雑なケースってというのは、何件ほど受け持っているんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。簡潔に願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） まずは、体制としましては3人です。対応の必要なケースは10ケースでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと関連するかどうかあれですけど、10ページの上から3つ目の充用額の重層的支援緊急対策っていうのは、関連し、どういう内容でしたか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） あまり個人的な情報は言えませんが、1ケースに対して緊急的な支援が必要になりまして、補正では間に合わないということで、予備費を上げて、こちらでゴミ撤去等の対策をしたものです。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の53ページ、5目 後期高齢者医療のこの広域連合への負担金が1億ぐらい増えております。また、2番の（2）も、基盤安定繰出金も1,000万ぐらい増えております。高齢者が増えて多くかかってくるのは分かるんですけど、ほかの側面で何かありますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まず、1つ目の後期高齢者医療療養給付費負担金でございしますが、後期高齢者医療保険加入者の療養給付費の市負担分、12分の1になりますが、そちらのほうを繰り入れているものです。

実際にかかった医療といたしましては、前年、令和3年度の実績から出したものとなっております。

額の増額につきましては、こちらのほうの負担金の前年度の精算分と、実質的なその医療の増額に関しての影響を受けている部分でございします。

また、2つ目の後期高齢者医療保険基盤安定繰出金につきましては、こちらは……。

ちょっとお待ちください。

こちらにつきましては、保険料の軽減分について繰り出すもので、軽減人数分の増と、その割合の増に関するものでございします。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 今の部分で、昨年12月からこの自己負担が2割となった人の人数とかは分かれますか。

（特会じゃないの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁できますか。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 昨年度10月より2割負担の方が増えておりますが、2,704人となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 この2割の人が増えて、病院の受診控えをされてるなどということはありませんか。

（それこそ特会じゃないの声あり）

（特会ですよねの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） ちょってください。堀内委員、特別会計で聞いていただけると助かります。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 実績報告書のほうの49ページの下段なんですけども、生活支援コーディネーターの配置ってあるんですけど、こちらの事業の具体的な内容を教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神長寿課長。

○長寿課長（伊神竜一君） これ、実際は、市内各地域に社協の職員にお願いしとるんですが、生活支援コーディネーターという役割の職員が地域に出ていきまして、地域の方々への介護予防を行うために、その方々が家に閉じ籠もらないような形で社会参加する場をつくり出すということですね。あと、地域の資源とのコーディネートするような役割というように社協の職員に委託しているという事業でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 それは、今、何人でやるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 本市の積算上は1名分で1日フルというところで見積りしておりますが、実際は社協職員2から3名で交代で当たっておるところが実態でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の46ページ、一番下のなんですけど、この訪問回数のところ、令和3年のところが、3年調べると1万5,491回なんですけど、これが1万2,221回になっていて、それから、要保護児童の発見、通告、仲介っていうのが令和3年が5件で、今回46件に急増しています。それと、調査実態把握件数が3,207件が昨年度、今回、4年度が1,758件に半減、ほぼ半減しています。その理由ですね。

あと、もう一つ、証明事務というのはどんなものなのか、それから、その証明事務の件数が減ったのはなぜか教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 民生委員の訪問の活動件数ですけれども、昨年度より減りました件数につきましては、それぞれの地区でそれぞれの事情がありますが、行事が令和3年度はちょっと復活していたのかな。ただ、令和4年度は、また、コロナの参加控えとかもある中で行事に参加する形が少なくなって、活動日数、訪問回数ともに減ったという事です。

また、証明事務につきましては、いろいろなその年金の請求であったり、その中で民生委員の証明というところがあります。年金を請求するために別居している御主人から扶養を受けているとか、そういうことを証明する件数ですけれども、この件数が……、件数はそのまま……。件数は少し減っておりますが、それも地域の事情によるものと考えております。

また、調査実態把握ですけれども、やはりこれも訪問回数が少し活動日数が少し減っているというところもありますけれども、実態把握もそれぞれの地域でそれぞれ行っているということで減っている形になってます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 関連ですか。

（関連ですの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 すみません、今、ちょっと答弁漏れというか漏れてたんですけど、要保護児童の発見と通告、仲介件数が5件から46件に急増してるんですけど、この理由はどういうことでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 虐待という言葉、児童虐待という言葉が最近の新聞にも出ましたが、件数が上がっているということで、市民の皆様が発見に努めていただいて、民生委員さんからも通報が増えてるということであると思っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 関連ですか。

（関連じゃないですの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 会議の途中ですが、ここで10分間休憩といたします。

午後 2 時 2 分休憩

午後 2 時 1 2 分再開

○決算特別委員長（清水義昭議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

質疑のある方は挙手を願います。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書の48ページ、最上段の介護施設の整備事業ですけども、グループホーム1か所と特養1か所ということですけども、それぞれの具体的な施設名と、おのおのの支給額を教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 実績報告書の129ページをお開きください。2目 老人福祉費の3、4の部分でございます。

まず、上段のところ、4,115万1,000円の部分がケアサポートプラスさん、これが前後のグループホームでございます。それで、4番のところは勅使会の勅使苑、特別養護老人ホームでございます。上段のグループホームが創設で、下の特別養護老人ホームのほうがプライバシー確保のための改修工事という形でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今のところの多床室のプライバシー化保護改修って書いてあるんですけど、どんな改修をするんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 各居室4人部屋、それから2人部屋のところをそれぞれパー

ティションで区切って、個室のようなスタイルになるような形の改修となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 この補助事業の財源はどういうふうになっているのか、あと、補助割合というのはどのようになっているのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 市の持ち出しはない形になっておりまして、本市は県のほうに請求して、そのまま県から歳入した金額をそのまま法人に支出するという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この事業に対しての、工事に対しての補助割合というのはどれぐらいなんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 一定の基準に補助率というような形ではなくて、グループホーム1施設で幾ら、それから、プライバシー確保のほうであれば、1床当たり幾らに何人分というような形の算出方法になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の55ページ、家庭相談員による相談事業で、相談件数の内訳というところで、児童虐待疑いという、括弧ね、があるんですが、報告するような事案はなかったという理解でよかったですかね。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） そうですね、要保護児童対策地域協議会というのを開催しているんですけども、そこで管理している家庭としましては76家庭、86児童となっております。で、この児童虐待疑いの件数が1,830件ということで、多い形にはなっておりますが、これは延べ件数となっておりますので、このような数があります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 　いとう委員。

○いとうひろし委員 　報告するような事案はなかったという理解でいいかね。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 　答弁願います。

　松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 　報告するような事案とおっしゃいますのは、生命に危険を及ぼすような重篤な事案ということでよろしければ、ございませんでした。

　以上です。

（ありがとうございますの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 　ほかにございませんか。

　中堀委員。

○中堀りゅういち委員 　58ページの……。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 　マイク。

○中堀りゅういち委員 　58ページ、2目め、扶助費なんですけど、去年よりも減っているということで、ちょっとすごいことだなと思っているんですが、理由の中で、10万円から5万円にその助成補助を減らしたということだったんですが、その10万円から5万円になったものの正式名称をもう一回ちょっと、書き切れなかったのが正式名称と、あと、これ、減ったのは理由として、交付金か何かが減ったからなのか、それとも何か別な理由があるならそれも教えてください。お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 　答弁願います。

　野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 　正式名称ですけれども、令和4年度の、まずは生活困窮者臨時特別給付金です。それで、またその年、令和4年度11月から、ちょっと長いんですけども、価格高騰対策特別給付金というものを給付しました。こちらが5万円、先ほど述べましたのが10万円という形で、5万円減額になりましたので、扶助費のほうも、対象人数は、対象者というのは住民税非課税世帯ということで変わっておりません。基準日もちょっと違うんですけども、基準日が6月1日と10月1日で、ただ、金額が5万円減りましたので、給付額も減額になったということでございます。

　以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 　ほかにありませんか。

　武谷委員。

○武谷としお委員 　報告書のほうの56ページ、保育園費のところですか。

　保育事業のところ、定員数よりは利用者数少ないと思うんですが、国基準と、潜在

的待機児童というのは把握されていますでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚本こども保育課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 令和4年の4月現在で、国待機はゼロ件です。潜在的待機児童数につきましては46人です。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 同じところの57ページ、4番、これ、154万8,000円の費用をかけて、おむつの持ち帰りの廃止、行っておりますが、これに対して保護者とか園から何か御連絡とかありましたでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） こちらにつきましては、園からは特段に困っているとか、そういったことは聞いておりません。保護者につきましては、持ち帰りがなくなりましたので、負担が減ったというふうに聞いております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどの56ページの保育事業です。先ほどのこの表のところがあるんですけど、これ、保育園等と幼稚園等ですね。これの公立が1つ減って私立が1つ増えたが定員が減っているようなんですけど、その理由を教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 令和4年4月1日から沓掛けやき保育園が開園しておりますので、そちらの関係で私立のほうで1施設増えております。その代わりに、前の月の3月31日で公立の沓掛保育園が閉園しておりますので、そちらで公立園が1園減っております。定員につきましては、利用定員がほぼ変わってはいないんですけども、沓掛よりもけやきのほうが少し減っている関係で、利用定員は少し減っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書のページ数55ページの家相談員による相談事業のところの欄ですけど、相談件数の内訳ですね、これが、まず最初に大きく変わっているのが、令

和3年と比べると、令和3年がその他の欄が258件なんですけど、4年だと1,553件に急増している。それから、育児の相談が、令和3年は699件だけど4年度は31件、そのほかもちょっと、あとは進路の相談件数が11件から96件に上がっているという、そのことについてちょっと理由が分からないので教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） まず、その他の件数がかなり増えていて、育児相談件数が減っていることなんですけれども、こちらの分類が非常に難しいところがございます。例えば、単なる育児相談ではなく、実は御相談されている保護者の方が心身の不調があったりですとか、家族間のトラブルを抱えていたりですとか、そういった複合的な課題を抱えているというふうに判断させていただいた方につきましては、その他ということで、ちょっと分離が不可能ということで、ちょっと4年度からそのようにさせていただいたところがございますので、一気に増えた形になっております。その他、ほかにも関係機関からの相談につきましても、こちらで計上をさせていただいております。

それから、進路等につきましてはですが、こちらは昨年と比べて85件ほど増えているかと思うんですが、実人数というよりは、1人の方が複数回相談されますと、それだけで件数が増えるというような状況になっておりますので、そういったことになっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 関連ですけど、今おっしゃったのは総相談件数を、それも600件増えたということでおっしゃったんですよね。違いますか。それは言ってないですか。それ、回答でなかったですか。進路のことですと言ったかな、今。

（最後は進路のこゝろの声あり）

○浅井たかお委員 すいません、ごめんなさい、はい、分かりました。

その総相談件数なんですけど、これも令和3年から比べると約1.2倍、600件ぐらい増えているんですね。それで、家庭相談員の方は3人から2名になってしまって、1人の方で単純に相談件数を割ると、もうかなりの量、急に増えちゃっているんですけど、そのことにちょっと心配になって、今後この相談員の方をまた募集して増やす予定があるのか、ちょっと教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 決算の範囲で答弁できることがあればお願いします。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） そうですね、委員おっしゃるとおり、家庭相談員が3

名から2名に減っております。実際にはこれではとても相談業務が行えないということで、実際には正職員の保健師をこちらの家庭相談室のほうに置きまして対応をいたしました。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の家庭相談員についてですけども、ちょっと聞くと、内容によっては結構夜遅くまで対応が必要だったりとか、複雑な問題が多くて、この家庭相談員が結構メンタル不調もあるというようなこと、他の自治体等、そういったお話も聞くんですが、本市の場合そういったことがなかったのかということと、そういうメンタル不調等にならないようなケアみたいなことはされたんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 係長と課長補佐と私課長のほうで、そういったことがないように日々気をつけて対応しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の50ページ、心身障害者手当の部分で、心身障害者扶助支給件数としては増加している傾向が毎年続いていると思うんですが、特別障害者手当の支給数はあまり変化はないように見えますが、どういった状況とか傾向があるか、もし分かったらお願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 扶助費のほうは手帳取得により等級によって支給がされます。特別障害者手当のほうは国の手当になりまして、診断書を該当者の方から提出していただいて、国の基準に当てはめて判定していくものであります。その判定は、重度、ほぼ寝たきりのような重度の方であったりとか、特に障がいの重い方に対する手当ですので、そういう方はなかなか増えないということがあります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 今のお話でいうと、心身障害者扶助支給件数については、社会全体の高齢化なんかの影響も含めて考えられるけど、特別障害者手当のほうはそうとは限らない

という理解でいいのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 委員のおっしゃるとおりです。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の55ページ、先ほどの家庭相談員になるのか、児童虐待の関連か分からないんですけども、資料請求で総合計画のまちづくり指標で、資料ナンバー1の②でめざすまちの姿のホチキス留めの資料を頂いております。で、その資料ナンバー1の②の一番上、めざすまちの姿ナンバーワンのところで、客観のところ、虐待、DVの件数ということで、ここは子どもだけではないかと思うんですけども、右のほうに行って、実績値の令和4年度の上のほうが相談件数ということで横ばいなんですけれども、認定件数というのがぐんと減っているんですけども、先ほどの子どもに関しての家庭相談員の虐待の疑いも含めた相談、あるんですけども、その辺のこのめざすまちの認定件数とのギャップというのか、どういうふうに分析、捉えていらっしゃるのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子どもの虐待につきましては、令和3年度で市が虐待と認定した件数、令和3年度は26件、令和4年度は22件というふうになっております。相談自体の件数は、資料にあるとおり、増えているんですが、市が認定した件数としては、少し減っているというふうに分析しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の57ページです。

保育園費待遇の改善を実際に行ったかの報告を事業者から受けるという措置が昨年度の議会のときのやり取りであったかと思うんですが、実際はどうだったのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

郷右近委員、もう一度質疑、お願いします。

○郷右近 修委員 実績報告書57ページ、3番の保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業で、当時の議会のやり取りでも保育園費、失礼、待遇の改善を実際に行ったかの報告を事業所から受けるということが答弁の中にあっただかと思うんですが、実際に昨年度どう

だったでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 保育士・幼稚園教諭等処遇改善の臨時交付金特例のことだと思われるんですが、そちらのほう、実績報告いただいております、11園に支給しております。一応人数としては238名の方に支給をされているというふうに確認しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の処遇改善のってところですけども、この賃金を引き上げたというのはどういうふうに確認しているのか。その賃金台帳等まで確認しているのかということと、それと今、11園とおっしゃいましたけど、これはこの処遇改善の対象となる施設全てに申請していただいているのかどうか。お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） こちらの11園は全て、対象の園全てとなっております。確認の方法につきましては、実績報告書に基づいて、教員のお名前、保育士のお名前ですね、と、あと給与がどのように前後で改定されたかというふうで確認をさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと関連してですけど、公立保育園と民間の保育園とで、保育士さんの平均賃金というのは分かりますか。違いはありますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） こちらのほうで、今平均賃金を比べるということはありません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 57ページの生活保護費のところですね、生活困窮者自立支援事業の中の3番目、毎月第1木曜日に生活困窮者相談窓口を開設したということで、この相談には何人何組が来たのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 南部社協の相談の窓口ですけれども、月1回ですので年12回になります。

以上です。

（何人の声あり）

○地域福祉課長（野田勇樹君） 人数ですか。

（何人何組の声あり）

○地域福祉課長（野田勇樹君） 後ほどお答えいたします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかに質疑のある方。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほどの資料ナンバー1の②の総合計画のまちづくりの、先ほどの、ごめんなさいね、めざすまちの姿ナンバーワンのところで、虐待、DVの件数ということで、先ほど子どもの認定したのが令和4年度は22件で、ここの資料にある認定件数、36から22を引いたのは大人というふうな理解で合っていますでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） すみません、虐待の認定件数は22件で、DVの件数が8件ですので、子育て支援課としては30件になります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの保育士・幼稚園教諭の処遇改善の点ですけれども、先ほど保育士さんの賃金、比較してないということなのですが、民間の保育園、市内の、あると思うんですけど、その保育士さんの賃金というのは市は把握されているのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚本課長。

○こども保育課長（塚本由佳君） 全てを把握しているというふうではありませんが、今回処遇改善でお出しいただいておりますので、実績報告があった件につきましては把握しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○**こんどうのぶお委員** 生活保護費の一番下、57ページです、危機管理監視員。不当要求に対応して警察業務経験者が任用を図るって、そんなにいろんな危ないような、そういう方が見えるんですか。どういった対応で、これ、つくったんでしょうか。何名見えるんでしょうか。

○**決算特別委員長（清水義昭議員）** 答弁願います。

野田課長。

○**地域福祉課長（野田勇樹君）** 危機管理監視員としまして、警察業務経験者、警察OBに来ていただいております。件数につきましては、他の課でもしそういう事案がありましたら行っていただいているので、全部のケースを確認していることはありません。ただ、そのような事件がありましたら、要請がありましたら、そちらのほうに行っていただく形になっております。また、まれにですけれども、窓口で大声を出したり、そういう方がいらっしゃる場合には、すぐに行っていただいて対応をお願いしているということはありません。

以上です。

また、もう一個お願いします。

○**決算特別委員長（清水義昭議員）** 野田課長、どうぞ。

○**地域福祉課長（野田勇樹君）** 先ほどの南部社協の人数ですけれども、よりそいの全体の件数に含まれておまして、ちょっと南部社協でのものはありませんが、よりそいの件数につきましてお答えさせていただいてもよろしいでしょうか。

相談につきましては新規で365名です。支援実績としましては延べ件数で7,619件ありました。相談者の3割から4割ぐらいが外国籍の方というふうです。

以上です。

○**決算特別委員長（清水義昭議員）** 土屋副市長。

○**副市長（土屋正典君）** 先ほどの質問に対して補足をさせていただきます。

危機監視員を雇わないかんほど危険な案件があるかということなんですけれども、ほかの自治体の福祉事務所の例なんかでは、職員が刺されて死亡したりとか、けがしたりとかございますし、本市でも、この危機監視員の案件をお諮りさせていただいたときに、一例として、模造刀なんかを振り回す方も見えるというような形でございます。実際仕事をやってみないとなかなか分からないかもしれませんが、やはりかなり職員は危険な場面においても、そういった職務を全うしないといけないということがありますので、よろしく御理解いただければと思います。よろしく申し上げます。

○**決算特別委員長（清水義昭議員）** ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の58ページです。

ひきこもり対策推進事業、相談窓口の件数でいうと、さらに件数は増えているというふうに思いますし、また、この生活保護総務費も毎年費用が増え続けているという状況だと思います。全体のその相談の中で、若年者と、あと成人というような年齢上で特に増えている層というのは、特定の層が増えているような傾向というのはあるのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 委託しておりますはばたきからの実績ですけれども、やはり20代の方が一番多く、43%ということで、これは例年これぐらいの数字が出ております。また、ひきこもりの方の御両親とか関係者の方もいらっしゃいますので、そちらの年代別でも、年齢を明かさない相談者の方もいらっしゃいますので、そちらの電話とかで、そちらで不明というのもありますし、年代としては20代が一番多く、それはずっと変わっていない状態です。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書49ページの下段、生活支援体制整備事業の中の2番、豊明市おたがいさまセンターのちゃっと、こちら、大好評の事業だと思うんですけど、この事業費の内訳を教えてくださいませんか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） この事業費の主なものは人件費、それから、ちゃっとで使用しております車両、このリース代が主なものというふうになっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今のちゃっとのこの一番下なんですけど、介護保険特別会計から一般会計へ移行ということで、重層的支援事業を開始ということなんですけど、これの効果というか、その辺は出ているのでしょうか。出るのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） この本事業、生活支援体制の整備事業なんですが、これに関しましては、重層的支援体制整備事業のうちの、これは地域づくり事業というものに該当するものでございます。というのも、世代、それから属性を超えて交流できる場、それから居場所を整備したりといったような事業に該当するものでございます。ということになると、ちょっとというものですと、生活の困り事のある方に対して、住民のサポーターがその手助けをしますといった事業でございますので、効果は十分にあるというふうに考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じく49ページの真ん中の地域包括支援センター事業についてですけども、この中で南部地域の包括支援センターの総合相談件数というのがほかと比べてすごく少ないんですけども、その理由と、これは3か所は、人口だったりとか高齢者の人数だったりとかというのは、大体3等分されているんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 担当地域、65歳以上人口で申しますと、北部、南部がほぼ同じ、大体5,500程度、それから、中部のほうが多くて7,000というような形になっております。中部のほうが大抵職員の構成上、若干充実しておるということで、このような配置になっているかなというふうに考えております。

それから、相談件数、総合相談の件数のところでございますが、これは各包括、職員が、我々がヒアリング等伺った際にも、この総合相談の件数についてはいろいろヒアリング等も各ところ伺ってしております。その中で、具体的にここが理由というところはなかなかないんですが、我々が受けた感覚としては、独居の方が南部が比較的少ない地域であるということで、地域性というところから南部は少ないのかなと。担当職員がそのようにお話をしておりますので、そういった地域性から南部のほうは少ないのかなというふうに認識しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 隣の48ページ、一番下です。高齢者温水プール利用料金助成事業ですね。これ、東部知多温水プールなんですけど、これ、負担金ってどのぐらいしているんですかということと、あと、交付者が29名とかなり少ないんですけど、これの利用促進

案とか、そういうのはございますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 近年はコロナで大分利用者が少なくなっていて、こういうような形というふうに思っております。令和2年のほうはもうちょっと多くて、40の方が使っておられたというところもございますので、これはまた民生委員さん等を通じて、皆様プールを使ってくださいというようなことで啓発していこうかなというふうに思っております。

それから、お金に関しましては、プール、1回行くと400円なんですけど、その半分を助成するというので、助成したお金をプールのほうにお支払い、東部知多温水プールのほうにお支払いするというような形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 負担金というのは市の負担金という意味なんですけど。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ちょっと待って。こんどうのぶお委員、東部知多への負担金は4款でお願いしたいです。

○こんどうのぶお委員 すいません、分かりました。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 58ページの米印2つ目の学習支援事業ですけども、開催の回数が、昨年、令和3年と比べてすごく減っていて、498から81回ですね、減っている理由と、この申込者68人の参加率ってどれぐらいあるのか分かりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 前年度の回数ですけれども、個人の支援回数と開催回数を上げておりましたので、今年度は純粋に会場での開催回数を上げております。また、利用率ですけれども、週1回の利用ですので、毎月トライから実績報告をいただいております。休む場合は連絡していただいておりますが、おおむね週1回ですので参加していただいているということです。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 愛知県豊明市歳入歳出決算書のほうで、131ページ、地域包括支援体制事業のところです。

○決算特別委員長（清水義昭議員） マイクをお願いします。

○中堀りゅういち委員 はい。ところなんです、委託料のところ、地域包括支援センター業務委託料とありますが、これ、ちょっと内訳、詳細、分かればお願いいたします。

あと、この地域包括センター事業ですが、持ち回りですか。何か決まって流れるなら、ちょっと私、そのシステム、知らないんで教えてください。お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） この地域包括支援センターですが、市内3つございます。

実績報告の116ページを御覧いただければと思います。

2目の老人福祉費の5、6、7、これが地域包括支援センターの委託料でございまして、3つの内訳が記載してございます。中部、北部、南部ということで3つございまして、中部が医療法人の清水会、北部のほうは社会福祉法人の勅使会、南部のほうは同じく社会福祉法人の福田会という形で、それぞれ委託をするという形になっておりまして、中部、北部、南部につきましては、この3法人に固定する形で委託をするという形になっております。

それから、委託料の主な中身に関しましては、大半が人件費が多うございます。それから、事業費に関しましても見積りの中に含めておりますが、近年ですね、相談件数等々、先ほども御説明したとおり増えてございますので、人件費が増えたりとか、コロナが明けてきたということで、事業費のほうも増えてきているという状況にございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 地域包括支援センターの選定というか、決めるのが、その流れで、サイクルでやっていくのか、このままずっとここでやっていくのか、もう一度ちょっと教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 当面は、現状の今委託している3法人でというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書58ページの米印4つ目、包括的就労推進事業642万5,000円ですけれども、この事業の実績、何件、就労だったりとか、何件の相談があったのか、どうでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） この事業は一般社団法人JWSに委託しておりまして、相談延べ人数は令和4年度は608人でした。その中で就労実績は8名でした。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバーの2の③児童館についてですけれども、令和4年度から二村児童館が廃止されて、令和3年の利用者数は9,006人もいたんですけれども、この方が今どこを利用されているかとか、どういうふうにされているかって、調査等されていますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 特に調査はしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 もう既に説明にあって聞き漏らしていたらすいません。

決算書の127ページです。

真ん中よりちょっと上辺り、委託料、それぞれの委託料が増えていっていると思うんですけれども、前年度よりも、これは純粹に利用者の数というか、利用件数が増えているからこうなっているということではないのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） それぞれ、まず在宅福祉に関しましては、これが家具転倒防止、それから緊急電話が入っておりまして、おっしゃるとおり実績に伴うものでございます。

それから生きがい推進事業、これは同額となっております。

それから、続きまして、理髪、それから寝具クリーニングとございますが、これもそれぞれ利用実績が増えたことに伴います増額となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 何件ぐらい増えているのかは分かりますかね。特に理髪とか寝具とか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

伊神課長。

○長寿課長（伊神竜一君） 理髪が、昨年度が44枚利用券が使われたものが、4年度が57件となってございます。それから寝具クリーニングが、これが布団の枚数に応じてということになっておりますが、敷き布団が59が50、これは減っておりますが、かけ布団が29が34、それから、毛布が62が50となっております。ただ、毛布はちょっと単価が安いものですから、差引きで若干の増額という形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほどありました資料ナンバー2の③の児童館の表です。資料要求の資料ナンバー2の③。先ほど二村児童館がなくなって、9,000人のその後の調査をされていないということですが、この地域に歩いて来れるような方たちは、恐らく、ごめんなさい、私は、小学生以上はカラットかな、ただ、小学生未満も令和3年度で2,000人以上の利用があったんですが、先ほどの調査をしていないっていう、やりっ放しっていうのかな、なぜ調査されないんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 調査につきましては、特に必要性を感じていないというところがございます。

で、すいません、小学生未満の方につきましては、乳幼児のお子さんと保護者の方になるかと思いますが、カラットにオープンしました子育て支援センターだけのこのほうの利用がかなり増えておりますので、そちらのほうを御利用いただいているのではないかとというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） これにて3款 民生費の質疑を終わります。

ここで理事者側の説明者の入替えのために10分間休憩といたします。10分間です。

午後2時53分休憩

午後 3 時 3 分再開

○決算特別委員長（清水義昭議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、4 款 衛生費について順次説明を願います。

中村健康福祉部長。

○健康福祉部長（中村泰正君） それでは、4 款 衛生費の決算につきまして、健康福祉部所管のものについて御説明いたします。

実績報告書60ページをお開きください。

4 款 1 項 1 目 保健衛生総務費です。決算額は 1 億3,187万4,129円で、前年度より795万円余の増となります。増額の主な要因は、機構改革に伴う人件費となっております。

続きまして、2 目 母子保健費です。決算額は 3 億1,878万7,206円で、前年度より5,824万円余りの増となりました。主な要因は、伴走型相談支援との一体的な経済的な支援として開始した出産・子育て応援交付金事業と子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨の再開及びキャッチアップ接種の実施によるものでございます。

続きまして、実績報告書61ページ、3 目 健康推進費です。決算額は 6 億1,341万7,491円で、前年度より 3 億9,229万円余りの減となりました。減額の主な要因は、新型コロナワクチンの接種回数が約半数になったことによるものでございます。

続きまして、63ページ、5 目 保健センター運営費です。決算額は1,051万9,179円で、前年度より23万円余りの増となりました。増額の主な要因は、光熱費高騰によるものでございます。

続きまして、64ページ、6 目 休日診療所運営費です。決算額は2,420万3,988円で、前年度より20万円余りの増となりました。増額の主な要因は、医薬材料費の購入によるものでございます。

以上で4 款 衛生費のうち健康福祉部所管の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 伊藤経済建設部長。

○経済建設部長（伊藤正弘君） 続きまして、経済建設部所管について御説明申し上げます。

同じく実績報告書の62ページを御覧いただきます。

4 目 環境衛生費でございます。前年度比較で約405万円の増額です。これは墓地に関する意識調査業務委託の委託料約380万円を実施をしたことが主な要因でございます。主な事業といたしましては、住宅用地球温暖化対策設備等設置費補助金交付事業、電気自動車等受給電システム、V 2 Hでございますが、この設置に対して補助を行いました。実績は

4件でございまして、計40万円の補助をさせていただいております。ほかには、合併処理浄化槽設置費補助金交付事業によりまして生活排水による河川等の水質汚濁防止に努めました。実績は5基で326万6,000円の補助をいたしました。

次に、64ページを御覧いただきます。

7目の公害対策費です。前年度比較約38万円の減額です。これは前年度には大気環境常時測定局測定器の修繕費約21万円を実施したことが主な要因でございまして、公害対策事業として、健康や生活環境を保全するため、河川等の水質調査を実施いたしました。

次に、2項1目 清掃総務費でございまして、前年度比較約1億8,555万円の増額でございまして、理由といたしましては、東部知多衛生組合の負担金が約1億7,987万円増額となったためでございまして、これは東部知多クリーンセンターのごみ処理施設建設事業公債に係る元金の償還が始まったことによる増の要因でございまして。

次に、資源回収につきましては、区町内会及び子ども会の皆様に分別収集をお願いしまして奨励金を交付させていただいております。

続いて、65ページ、2目の塵芥処理費でございまして、決算額は約338万円の増額です。これはごみの分け方・出し方パンフレットの印刷製本費約121万円と外国語版ごみ分別チラシの印刷製本費約150万円を実施したことが主な要因でございまして、主な事業といたしましては、市民の皆様から出される可燃ごみ、不燃ごみの収集運搬を行い、清掃事務所では粗大ごみの受付業務と玄関先への戸別有料回収を実施いたしました。

次に、66ページでございまして。

3目のし尿処理費でございまして、決算額は前年度とほぼ同額でございまして、主な事業といたしましては、し尿の収集処理でございまして。

以上で経済建設部所管の4款の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。

4款 衛生費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

毛受委員。

○毛受明宏委員 実績報告書の64ページ、7目の公害対策費の下の欄の1、2、3とあるんですけど、特に市内でも流末地域の阿野区は2番の水質調査というところに敏感になっておりますが、この関係で数値的にはどんな感じで上がってきているのかなど。よろしく願います。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山環境課長。

○環境課長（青山康徳君） 水質調査の委託業務の結果でございますけれども、特に大きな数字の変化というのは前年度と比べてございませんでして、水質に異常があるような数値というのは現在出てないような状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 次は1番のほうの相談件数のほうになるんですけど、大気汚染22件というところで、大気汚染の観測所というのか、システムが1つもう稼働はしてないんですが、阿野区のほうのものは。この関係で大気汚染の苦情というか、相談のほうに何やら影響があるようなという相談はなかったでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） こちらの大気汚染実績報告書のほうでは22件というふうに上がってきておりますけれども、こちらのほうは主に野焼きに関する苦情でございまして、何か観測所を廃止したことによる影響ということではございません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今のところの相談件数287件なんですけど、これは何件ぐらい解決したんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） こちらのほうは基本的に市民の方から御相談、行きまして現場のほうに確認するようにいたしております。内容にもよるんですけども、例えば野焼きの現場でございましたら、現場でその原因者の方にお会いできましたら、そのときに直接指導をさせていただくものになっております。基本的に相談いただいたものに対しては現場確認して対応をして解決しているものと理解しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 歳入歳出決算書のほうの161ページ、上から4行目、犬猫等死体処理等委託料、これが143万5,000円、これは何件あったのかということと、狂犬病予防接種等

委託料40万2,000円余、これも何件あったのかと、その下のほう、下から5行目、犬猫避妊等手術費補助金、これも何件あったのかをお聞きします。

そして、マイクロチップの補助金等はなかったのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） 順番にお答えいたします。

まず、死体処理の令和4年度の実績でございますけれども、261頭ございました。

続いて、狂犬病予防注射の件数でございますが、注射は2,901頭でございます。

補助件数でございますけれども、順番に申し上げます。犬の避妊が68頭、去勢53頭、猫の避妊93頭、去勢83頭、計297頭でございます。繰り返します。犬の避妊68頭、犬去勢53頭、猫避妊93頭、猫去勢83頭、計297頭でございます。

電算関係委託料の執行でございますけれども、こちらは犬の登録管理システム、マイクロチップ対応ということで予算計上をしておりましたけれども、県内の状況を見まして、令和4年度時点でワンストップのほうに参加している自治体というのがゼロというところで、県内の状況を見ながら私どもの参加を見極めているところでございましたけれども、昨年度は結果的に参加を見送ったというようなことで、この予算のほうは執行しなかったという結果でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の60ページの真ん中辺り、子宮頸がんのワクチン、これなんですけど、接種による副反応の申出はあったのかどうかということと、もう一つ、一緒のような予防接種なんですけど、新型コロナウイルスの感染症予防接種による副反応の申出があったかどうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子育て支援課からは子宮頸がんワクチンのことについてお伝えいたします。

副反応についての御相談ですとか報告は、御本人、保護者、医療機関から来ておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 川原健康推進課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 新型コロナウイルスワクチンのほうにつきましては、後ほど答えさせていただきます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 プラごみの一括回収事業の件なんですけど、実績書の65ページ、予算のほうで1,120万ぐらいなんですけど、実績が455万8,000円なんですけれども、予算が決算より大分少ないんですけど、どうしてでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） こちらの予算に対して実績の金額が少なかったというところなんですけれども、プラスチックのリサイクルを実施するに当たって業者さんといろいろと協議をさせていただきまして、豊明市、ほかの自治体と先行してプラスチックの一括回収、リサイクルを進めるというところもございましたので、その効果を業者さんとしても実証、効果を検証したいというところもありましたので、委託料に対して、予算に対して約6分の1の価格でお願いすることができましたので、実績の金額が少なくなっているという形でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 関連なんですけども、支払った業者というのは1社でしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） プラスチックリサイクル、回収と中間処理に同じ市内の業者さんを使っておりまして、それに加えて、リサイクルを実施している業者さんはまた別の業者になりますので、回収、中間処理、リサイクルで2社の業者を使っている形になります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 関連です。こちらは大分安くできておりますが、狙った効果って何かありましたでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） プラスチック一括回収を始めたことによる効果なんですけれども、

ども、令和3年度と比べまして令和4年度下半期、10月以降の回収量が約6%増えておりますので、その分、燃えるごみの減量につながっておりますので、十分効果があったかというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 プラ製品は10月より何トン回収できてるんでしょうかということと、それのかかった経費というのはどうなるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） プラスチックと容器包装を、こちらは実績報告書65ページ、資源回収実績のところの下から3番目、プラスチック（プラ容器包装・プラ製品）、合わせて374.67トンを集めました。収集したものを分別しましてリサイクルに回っていったものが約20トンございます。

費用、こちらのプラスチックのリサイクルにかかっている費用が約21万7,000円ということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 先ほどのコロナワクチンにつきましてお答えさせていただきます。

令和4年度末において健康被害ということで御相談があった件数は合計で5件でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

服部委員。

○服部龍一委員 この65ページの資源回収の件なんですけれども、例えばリサイクルで資源を売って利益を得るとか、そういった関係はないでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 青山課長。

○環境課長（青山康徳君） 資源のほうは、集めて売却できるものは売却しております。新聞、雑誌、紙類であったり、缶類、鉄類や売却できるものは資源売却金として、決算書でいいますと、69ページのところで資源売却金で約1,300万円ほど売却が上がっている形でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほど、新型コロナウイルスの接種について相談が5件あったということなんですけど、それは県とか保健所等への報告をしたのかどうかということと、その後の相談を受けた方の健康状態、回復したかどうかという報告等はあるでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 5件につきましては予防接種の健康被害調査委員会を開催させていただき、保健所に報告しておりまして、それについて国のほうに進達という形で件数として上げております。その後の健康相談につきましては、御相談があった場合については対応している件数もございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 すみません、もう一度お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 川原課長、ゆっくりお願いします。

○健康推進課長（川原静恵君） 5件につきましては、予防接種健康被害調査委員会を開催させていただきまして、保健所を通じて県、国のほうに健康被害の申請ということで上げさせていただいております。その後のフォローにつきましては、その方からの相談があれば丁寧に対応しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 現在も続いているのか、どうでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 現在も関わっている件数が5件です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 じゃ、まだ今ちょっと回復はしてないということで受け取っていいですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 委員のおっしゃるとおりです。継続しております。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 では、実績報告書の63ページ、中央部分の環境監視員活動の報酬等というところなんですけど、決算書のほうの159ページにある環境監視員の報酬のところが365万1,864円となっているんですけど、こちらの実績報告書というか、こちらのほうは報酬が442万1,788円となって金額がちょっと、差額が76万9,924円あるんですけど、この違いはどういうところから来ているんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） 委員報酬、こちらの報酬等440万円の内訳なんですけれども、先ほどの監視員の報酬350万円と社会保険料ですね……。

（社会保険料の声あり）

○環境課長（青山康徳君） 職員手当と費用弁償、交通費も加わった形で計算しておるものですから、報酬に加えて交通費、あと、手当を加えた形になりますので、合わせて440万という数字になる形でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員 実績報告書60ページです。一番上、1項1目、ここの保健衛生総務費ですが、機構改革という部分で増額という内容だったんですが、この機構改革の内訳というか、内容をお願いします。

あと、これに対して歳入出の決算書のほうに何かしら記載というのはございますでしょうか。お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 令和4年度から健康長寿課というところの課が長寿課、健康推進課と、新たに健康推進課が増えておりますので、それによるもので増額となっております。特に決算書のところにつきましては記載はございません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書の60ページ、新生児聴覚検査です。聴覚検査を行った結果、聴覚異常を早期発見できたような例はあるのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

松村課長。

○子育て支援課長（松村清子君） ちょっと件数は持ち合わせておりませんが、異常が出て引き続き医療機関で管理となっているお子さんはいらっしゃいます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 先ほど、東部知多の温水プールの市の負担金ということで、今回、65ページですか、東部知多衛生組合負担金、これは全体のものだと思うんですけど、プールだけの負担金は幾らなんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 青山課長。

○環境課長（青山康徳君） 東部知多温水プールの負担金の額でございますけれども、905万7,000円でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の東部知多衛生組合の負担金についてですけど、この5億8,000万の負担金のうち、クリーンセンターの改修の償還部分というのは幾らになりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） 全体で5億8,000万円ほどかかっておりまして、いわゆる公債費、借金に相当する部分が約2億6,400万円でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 昨年、令和3年と比較すると1億8,000万増えてますけども、この増えた部分というのは償還の部分もあると思うんですけど、償還の部分だけではないですよ。増えた部分というのは何がありますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） 主な理由としましては、先ほどの償還の部分が大きな要因ではございますけれども、付け加えまして、委託の費用も増えておりまして、可燃ごみの長期包括運營業務委託というところで契約を結んでおるものですから、昨年度、その分も負

担金のほうに増額要因となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 環境衛生費、62ページですけども、墓地に関する意識調査とありますが、どういう調査内容だったか、教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 青山課長。

○環境課長（青山康徳君） こちらの調査業務でございますけれども、需要が高まっております合葬墓など、新たな埋葬方式への使用者の方への意向や市内の墓地の需要動向を把握しまして、今後の勅使墓園の方針検討を行うために行ったものでございます。

具体的には意識調査と墓地の需要予測というのを行ってございまして、市内の勅使墓園の使用者に対したり、3つのアンケートを行っております。勅使墓園の使用者、一般の市民の方、墓園を持ってみえる宗教法人の方に対して意識調査を行いまして、さらに墓地の今後の需要予測をした調査内容となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の墓園の調査ですけども、この調査での調査結果というのはどのような結果が出ているのかということと、整備の方針検討に使うということですが、何か整備方針で決まったこととかいうか、考えてることはあるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 青山課長。

○環境課長（青山康徳君） 調査結果につきましては、実際に合葬式の墓地を整備するというのを希望するという方は一定数いらっしゃるということが確認できましたけれども、需要予測のところを見出したところ、合葬墓地も含めて、市内、将来の需要予測というのを十分に満たすということが分かりました。それが調査結果でございます。そちらの調査結果を基に検討した結果、豊明市の勅使墓園のほうに合葬式の墓地は整備しないというような形で検討した結果でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 すみません、また戻っちゃうんですけど、新型コロナウイルスの今現在も回復、ごめんなさい、ページ数、実績報告書の62ページのところの今もまだ回復して

ない市民の方がいるということで、これが今継続している人は何名でしたか。ちょっと聞き漏れしたので、すみません。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 5人、5件です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の66ページの塵芥処理事業の2の年間のごみ回収実績量、家庭系のごみがあります。可燃物で約1万859トンという数字が出ておりますが、1トン当たり焼却するのに幾らかかっているかというのは分かるでしょうか。先ほどの東部知多全体の負担金の5億8,000万、償還分で先ほど2.6とあったので、それを差し引いた感じでいいんでしょうかね。分かればお願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君） 償還にかかる費用ということでの金額の算定は行っておりませんので、お答えできません。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 家庭系の可燃物、燃えるごみの年間の回収実績が1万859トン、令和4年度、出てますけれども、1トン当たり焼却するのに幾らかかっているかというのは分かりますでしょうか。償還とか、建設費にかかった借金を返していくのは除いて、1トン燃やすのに幾らかかっているかというのは分かれますかね。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 青山課長。

○環境課長（青山康徳君） 東部知多で実際にかかっているごみのトン当たりの単価をお答えいたします。4万4,338円が1トン当たりにかかるコスト、ごみ処理にかかっているコスト4万4,338円でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ありがとうございます。

あと、同じページに当たるのかどうか分からないんですが、ごみ減量20%の計画が昨年度で最終年度で終わって、その結果報告は報告会があったり、市のホームページでもありました。最終年度の基準年度に比べて6%減にとどまったわけですがけれども、どういうふうに捉えていらっしゃるでしょうか。関係ない。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 少し決算に関わるような質疑に。

○ふじえ真理子委員　ごみ減量4年間が最終年度で結果も出たんですけれども、その数字だとかというのは市民への報告会やホームページでも拝見してるんですけども、終わってみて6%減にとどまったということに対する捉え方、評価というのか、市としてどういうふうに捉えているか。

○決算特別委員長（清水義昭議員）　令和4年度の範疇で回答できる限りでお願いします。
青山課長。

○環境課長（青山康徳君）　目標値20%に対して6%、4年度の実績で申し上げますと、先ほどのプラスチックリサイクルの効果であったりだとか、皆様が資源分別に御協力いただいておりましたので、目標には届いておりませんが、確実に4年間、段階的に減ってる状況はありましたので、確実にごみ処理の減量の状況は続いているというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　先ほどの東部知多衛生組合の負担金の増額分についてですけども、ちょっと説明で分からなかったんですけど、委託で可燃ごみで包括委託というのがあったと思うんですけど、その内容、何なのかということと、それは幾らその負担分が増えてるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康徳君）　東部知多衛生組合における施設の運転とか維持管理に係るものを長期契約という形でやっております。それが昨年、令和4年度から始まっておりまして、主に施設の維持管理、修繕にかかる費用を長期包括運營業務委託というふうにやっております。具体的にかかった費用までは今ちょっと手持ちでございませんのでお答えすることができませんが、そのような運営に係る委託が昨年度から始まっているというところがございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員　66ページの上の粗大ごみ回収で回収実績3,473個、このごみにかかった費用は幾らですかということと、あと、リサイクルできるものもあるんでしょうか。そういったことを今後考えていくんでしょうか。どうでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

青山課長。

○環境課長（青山康德君） 具体的に粗大ごみにかかったコストだけというのは算出しておりませんのでお答えすることができませんが、リサイクルというところは、解体して金属として売却できるものは売却してリサイクルを進めているような状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの包括管理のところですけど、豊明市の負担金が幾ら増えたのかというのは分からないということによいですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 土屋副市長。

○副市長（土屋正典君） 個別の委託の中で、全体の中でそれぞれの人口割とか、それから、搬入割とか、実績割でやってるものですから、案分すれば出るでしょうけども、その辺の案分の仕方も難しいですし、現実的にその辺のところの数値を持ち合わせていないようです。

あと、包括委託というやつなんですけども、当然、大きな額が委託料として今回上がってきたんですけども、これまでの修繕工事が入っていた部分とか、運転委託とか、そういったものを全てひっくるめたもの、今まで個別に発注してやってた工事とか、維持管理とか、あと、消耗品とか、そういったものを全てひっくるめて包括運転委託のほうに入れたということですので、それはいわゆる長期間の契約の中で年割りして金額をはじき出しておりますので、ですから、全体的にはその分が新たに何か新規で増えたという解釈ではありませんので、そこだけ御理解のほうをよろしくお願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

失礼しました。浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 起債が関連しますので、我々のほうで、ちょっと細かなことですが、補足します。

今回、1.8億、負担金が増えておりますが、起債分が1.3億円増加しておりますので、先ほど環境課長から説明があった分というのは、おおむね5,000万程度がその中に入っているのではないかとこのように考えられます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 64ページの休日診療所の件ですけれども、決算で見ると200万の増加になっていますけど、昨年度と比べると。利用者数というのが3倍増えてます。この3倍増えた理由と、この説明の3行目辺りに医師、薬剤師、看護師、医療事務を増員したというふうにあるんですけども、どれぐらい増員されたのか。200万程度で増員されたということなんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） 休日診療所につきましては3倍となっておりますが、こちらはコロナの患者さんだったとしても発熱外来ということで受け入れておりましたので、広く市民の方や市外の方も周知できたということで患者さんが増えていると思います。

医師につきましては、患者さんの人数によって、通常は医師が1人、薬剤師1人、看護師2名、医療事務1名で体制を取っておりますが、患者さんが70人ぐらいになったときにつきましては、医師、薬剤師それぞれ全て2人、1人ずつ増員して体制を取っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 この件に関連するか、しないかもしれないんですが、決算書の59ページの上から2つ目の県の交付金で医療提供事業の交付金ということで3,597万と結構大きな数字で入っているんですけども、これは何に当たっているんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

川原課長。

○健康推進課長（川原静恵君） こちらは、先ほどの繰り返しになりますが、新型コロナウイルス感染症の方で陽性となった方については、自宅療養についても医療提供を充実することを目的に、交付金として陽性者の患者さん1人につき3万円を入となっております。休日診療所のほうに当たっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） これにて4款 衛生費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午後3時41分休憩

午後 3 時 4 4 分再開

○決算特別委員長（清水義昭議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、5 款 労働費について説明を願います。

伊藤経済建設部長。

○経済建設部長（伊藤正弘君） それでは、5 款 労働費の決算概要を実績報告書に基づき御説明させていただきます。

67ページをお願いいたします。

1 目の労働諸費でございます。前年度比約167万円の減額でございます。主な理由は、令和元年度から令和3年度まで実施した人材定着支援事業について令和4年度は実施をしておりませんので、このことによる減額でございます。

以上で5 款の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。

5 款 労働費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

毛受委員。

○毛受明宏委員 2つの事業を行ったということですけど、豊明、また、1 番だと7市1町、2 番だと豊明ということですけど、マッチングしたというか、成立したという件数とかは把握していますでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷産業支援課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 個別の追跡調査が難しいものですから、就職につながった件数までは把握できておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） これにて5 款 労働費の質疑を終わります。

続いて、6 款 農林水産業費について説明を願います。

伊藤経済建設部長。

○経済建設部長（伊藤正弘君） それでは、6 款 農林水産業費の決算概要を実績報告書に基づき説明をさせていただきます。

68ページをお願いいたします。

1項 農業費、1目 農業委員会費でございます。前年度比約448万円の増額です。主な理由は、農地利用最適化推進事業を実施し、農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の皆様へ年額加算報酬を支給をさせていただいたことによるものでございます。主な事業としては、農業委員会事務で農業委員会総会を毎月1回開催し、付議案件を処理いたしました。

2目 農業総務費でございます。前年度比約352万円の減額です。主な理由は、年度途中の配置人員の変更による人件費の減額によるものです。主な事業としては、農村環境改善センター管理及び運営事業で市民向けの農業関連講座を開催し、農産物のPRに努めました。

3目の農業振興費です。前年度比約55万円の増額です。主な理由は、農業経営支援のため、肥料等価格高騰に対する補助を行ったことによるものです。主な事業としては、米の生産調整推進対策をはじめ、各種農業団体や新規就農者の育成指導、農産物の品質向上や農業経営合理化を図るための支援を行いました。

次に、70ページをお願いいたします。

4目 畜産事業費でございます。前年度比約7万円の減額です。主な事業としては、家畜防疫対策事業等の補助を行いました。

5目 農地費でございます。前年度比約2,100万円の増額です。主な理由は、県営事業に対する負担金の増額によるものでございます。愛知県が行う大久伝排水機の更新及び勅使池等の耐震対策に伴う事業などに対する負担を行いました。

続いて、71ページをお願いいたします。

6目 地域農政推進対策事業費でございます。前年度比ほぼ同額でございます。主な事業としては、農用地利用計画変更申出書の審査及び関係機関との協議等を行いました。

2項1目 林業費でございます。前年度比ほぼ同額でございます。主な事業としては、森林法に基づく伐採届の受理手続等を行いました。

以上で6款の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。

6款 農林水産業費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の68ページの上のほうです、農業委員会。資料ありがとうございました。資料請求しましたナンバー1の④の表なんですけれども、このA、B、Cで基本額、最適、あと、割増しとか、あるんですが、ちょっとこの辺の説明をお願いし

ます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

加藤農業政策課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、Aの基本額につきましては、委員の皆様は活動日数が平均8日以上を超えておりましたので、基本額と時間単価というわけではないんですけれども、1,000円ということで、4月から1月までの10か月分ということで、月8,000円の8万円という形で皆様へ支給させていただいております。

Bの最適というものにつきましては、最適化推進委員さんが6名ほど見えるんですけれども、この方たちは農業委員さんの活動に加えて、特別に最適化推進委員さんの会議を開いたりだとか、現地調査に行っていたりということをやっているものから、その分、月8,000円ということで計上させていただいたものです。

Cの評価割増しというのは、Aの左側のところに活動日数評価というのがございますが、こちらは国の交付金の実施要綱に掲げてある評価の単価を掛けたものになりますので、こちらで評価割増しという計算をさせていただいて合計額を支払いをさせていただいたものでございます。

説明は以上となります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のに関連してです。この委員年額加算報酬ということで決算で合計で206万8,000円があります。もともと従来にあった農業委員への月額報酬というのが実績報告書の上に400万余ありますけれども、先ほど、月に平均8日以上ということで基本額があるんですけれども、もともとの月額報酬なんですかね、これ。1人当たりの月額報酬を、すみません、お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、農業委員会の会長さんが月額2万3,600円となります。それから、農業委員会の会長職務代理者の方が月額2万1,600円となります。それ以外の農業委員会委員、農地利用最適化推進委員の皆様は月額2万600円となります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

三浦副委員長。

○三浦桂司委員 農地利用最適化推進委員というのは新しく四、五年前からできたと思うんですけれども、かつては農業委員会のメンバーの人が現地の田畑の調査まで行っていたと思うんですけれども、現在は農業委員さんは農業委員だけで、会議だけで、農地利用最適

化推進委員の人は農業委員会に出て、なおかつ現地の田畑の調査をするから加算額が今回増えたという認識でよろしいですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 委員のおっしゃられるとおり、以前の農業委員さんの活動のほかに、農地利用最適化推進委員さんは特別な活動をしていただいているということで月8,000円分割増しさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

三浦副委員長。

○三浦桂司委員 この表で見れば、11番目から16番目という人が農地利用最適化推進委員という捉え方でよろしいですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 三浦委員のおっしゃるとおりでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連です。農業委員会のいろんな議事録とかを見て、農地のパトロールは、違ったら訂正してください。パトロールが農業委員さんとこの最適化推進委員とのペアで行っているような感じを読み取れたんですけども、そういった現地パトロールは農業委員もしているかと思うんですけども、それにプラスアルファして先ほどの最適化委員さんがやってるということでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 農地利用最適化推進委員さんというのは現地活動が主な業務の内容なんですけれども、豊明市の農地利用最適化推進委員さんは農業委員さんと一緒に農業委員会の審議案件の現地調査とかへ行っただいております。そのときに周辺の農地も見回っていただくようお願いしております。ですので、それと併せて農地利用最適化推進委員さんは荒廃農地の調査に行っただいたり、事務局と一緒に農地パトロールも行っただいておりますので、その分、農地利用最適化推進委員さんは農業委員さんよりもさらに活動していただいているということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかに。

こんどうのぶお委員。

○**こんどうのぶお委員** 今のところの下タブレット端末導入ということなんですけど、これ、農業委員全員に渡してるのかと。あと、何台、何台で単価が出るとは思いますけど、それと、皆さんが全員使えるのかちょっとよく分からんですけど、その辺の効果はどうでしょうか。

○**決算特別委員長（清水義昭議員）** 答弁願います。

加藤課長。

○**農業政策課長（加藤直美君）** まず、タブレット端末ですけれども、7台購入いたしました。こちらのほうは農地利用最適化推進委員さんの6名分と、あと、農業委員さんの貸出用ということで1台、合わせて合計7台となります。

活用なんですけれども、農業委員さんと農地利用最適化推進委員さんは改選もございましたが、年度末に購入がようやくできたものですから、まず、御高齢の方も多いので、最適化推進委員さんの方にタブレットに慣れてもらうことから始めてまいりました。それで、改選もありまして、今月から農地の現地写真を農業委員会の総会の場で全体で共有するような格好で進めようとしております。今のところの活用は以上となります。

○**決算特別委員長（清水義昭議員）** ほかにございませんか。

郷右近委員。

○**郷右近 修委員** 決算書のページは……。ちょっと待ってください。一旦探し出します。すみません、飛ばしてください。

○**決算特別委員長（清水義昭議員）** こんどうのぶお委員。

○**こんどうのぶお委員** 70ページ、5目 農地費、農水管付替え事業、柿ノ木地区関連なんですけど、これ、どこをどのように付け替えたんでしょうか。

○**決算特別委員長（清水義昭議員）** 答弁願います。

星子土木課長。

○**土木課長（星子恭士君）** こちらは柿ノ木工業団地地区の既設の農水管を柿ノ木区域から出すような工事を行いました。延長としては120メートルほどで行っております。

以上です。

○**決算特別委員長（清水義昭議員）** ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○**ふじえ真理子委員** 実績報告書の137ページの一番下にあります単独土地改良事業農水管修繕工事が上がっております。これ、今回の補正と関連があるということなんですけれども、昨年度の決算ということで決算額が928万7,300円ということですが、ここにある場

所というところで沓掛町徳田池下地内外とあるので、その徳田池下以外は何か所かたくさんあるんでしょうかというか、ごめんなさい、928万7,300円のうち徳田池下に関連するのは幾らですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらは同じ施工箇所、道路によってちょっと字名が変わりますので、地内外というふうにさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 1か所ということで理解しました。

ここも137ページにあります契約金額が665万5,000円だったのが大幅に260万ほど追加しておるんですけれども、これの理由、お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらは当初、土かぶりが8メートルの立ち上がり管に屈曲部に漏水があるという仮定をしておったんですけれども、掘削を開始するときに既設の農水管の位置を確認するために試し掘りを行いました。その際に勢いよく湧水のある箇所が確認されたため、3メートルほど掘り進めた位置に漏水箇所が発見されました。その漏水の原因として、別の場所から来ている配水管、これがまた鉄を腐食させるような原因となっておりましたので、その管を撤去するという事で増額をいたしております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連です。これももう一年前の令和3年度に農水管の修繕工事の実施計画業務委託というので執行しているんですけれども、そういう設計に出した設計のミスというふうには捉えられないでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 令和3年度の設計につきましては、想定箇所での工事設計を発注しております。このたび漏水箇所が新たに分かったため、その対策工事を行って完結しているというふうに認識しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書175ページの一番上の米の生産調整の補助金の金額が年度で行ったり来たりしてるみたいですけど、令和3年度と4年度の比較だと1割ぐらい増額しているようですが、何か理由があるのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、コロナ禍によって主食用米の需要が減った。外食が減ったということが主な要因なんですけれども、それに伴って令和2年度をピークに年々主食用米が下がっているような状況でございました。そのため、主食用米以外の米に、生産調整のお米になるんですけれども、こちらにシフトしたため、それが主な要因で令和3年度に比べて令和4年度は米生産調整の対象面積が増えたことが主な要因でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 70ページ、農地費の下、県営たん水防除事業負担金、これの大久伝排水機場更新工事、この排水場の排水能力はどのぐらいなのでしょう。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 大久伝排水機場のポンプの能力につきましては、1秒間に8立米ほどのポンプ能力となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 それはよく教えていただきたいんですけど、30年に1度の災害に耐えられるような、そういった能力なのでしょう。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらの排水機場につきましては、湛水防除事業としまして農地に湛水することを防ぐための機械でありまして、市街地等の大雨対策というものではございません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 県営たん水防除事業負担金4,200万ほどですか、これは昨年も払ってるんですけど、いつまで払うのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらは工事予定が令和7年度までとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書69ページの下2つ、肥料等価格高騰支援補助と土壌診断支援補助ですけども、それぞれ何件といたしますか、何事業者からなのかということと、その事業者の中でJAに加入されてないところもあったのかどうか、お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） まず、肥料等価格高騰支援補助金の件数でございます。152経営体の方から申請をいただいて補助金をお渡しいたしました。

土壌診断支援補助金の件数でございますが、16経営体でございます。

あと、JAさんを通じてかどうかということでございますけれども、この肥料等価格高騰支援補助金の2経営体の方からは直接頂いておりますが、この方たちはJAに加入していないわけではなくて、JAさん以外のところで肥料を買われたということで直接申請があったものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 今のお話、実績報告書69ページの9番のところの肥料補助で、令和4年度のこの事業を通じて該当する方からの評価とか意見みたいなのはどんなあんばいなのでしょう。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 直接いただいたお話は、JAさんを通じて申請された方は申請書1つで、あとはJAさんと私どものほうで書類のほうはやり取りさせていただいたので、簡便な手続で補助金をもらうことができよかったというふうなお声は伺っております。あと、タイムリーなところで補助金の内容が出たもんですから、それはよかったなということはおっしゃられてました。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 69ページ、一番上ですけど、新規野菜カリフローレ、こういった

付加価値のあるのが新しいブランドで出たということなんですけど、またシールも作るみたいなんですけど、また新しいこういった新規野菜があるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらの新規野菜産地ブランド化事業につきましては、当初はカリフローレから進めさせていただきました。こちらの目的は市場出荷を頑張りたいという取組を進めるものでございまして、2年度からはカリフローレのほかにブロッコリー、ケール、こちらのほうも補助の対象となっております。主に鮮度保持袋に対しての資材の補助でございますので、通常の資材よりも鮮度が保たれて、やっぱり市場出荷しても品がなかなか鮮度が保たれていいということは伺っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の70ページの上です。4目 畜産事業費、金額は小さいんですけども、対前年度で半分ぐらいになっています。組合数に何か変化があったんでしょうか。半分になった理由を教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらの家畜防疫対策事業補助金、畜産環境衛生促進事業補助金につきましては、養鶏農家の方に対する補助でございますが、養鶏農家の方が2軒から1軒に減ったこともありまして昨年度も減っております。それに加えて、残った1軒の方が御高齢で、飼っている鶏の頭数を減らしているということも原因だというふうに伺っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書71ページの地域農政推進対策事業で、農用地利用計画変更届というのはこの令和4年度だとどのようなものが出ていて、何件出されておりましたか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 内容はちょっとお伝えすることはできませんけれども、農地転用につながる農振除外の件数は5件、農地から農業用施設用地への用途変更につき

ましては1件出ております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 決算書の173ページにある有害鳥獣駆除委託料が45万円で、毎年特に変化はなさそうなんです、これは実際の農地の面積が減っていても、定額みたいな、そういう契約の形なんでしたっけか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらの有害鳥獣駆除は猟友会の方をお願いしている委託費でございますが、主に保険料だとか、あと、お車代というか、そういったものだとか、弾代とか、そういうものに充てられるものでございますので、農地の面積が減ったからといって委託料の増減は発生するものではございません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書71ページの林業費で、伐採届というのは何件出ているのかということと、あと、その広さはどれぐらいありましたか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） 伐採届につきましては3件で、面積につきましては0.26ヘクタールでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 69ページの農業振興補助事業7番目、就農希望者の受入れということで、これは何人ぐらい見えたんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

加藤課長。

○農業政策課長（加藤直美君） こちらは花苗生産施設のところで就農希望者がいればということなんです、これは花苗生産者に限ったことございまして、昨年度はそういう方はお見えにならなかったというふうに伺っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○決算特別委員長(清水義昭議員) これにて6款 農林水産業費の質疑を終わります。
ここで、会議の途中ですが、10分間休憩といたします。

午後4時11分休憩

午後4時21分再開

○決算特別委員長(清水義昭議員) 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。
続いて、7款 商工費について説明を願います。

伊藤経済建設部長。

○経済建設部長(伊藤正弘君) それでは、7款 商工費の決算概要を実績報告書に基づき説明をさせていただきます。

72ページをお願いいたします。

1目の商工総務費です。前年度比約420万円の増額です。主な理由は、ふるさと納税の寄附金額の増額に伴い、返礼品に係る需用費等が増加したためでございます。また、主な事業としまして、本市のブランディングを進めるとよあけ花マルシェ事業やふるさと納税業務、企業再投資の事業認定を行いました。

次に、73ページをお願いいたします。

2目 商工振興費です。前年度比約2,540万円の増額です。主な理由は、地元応援割引券事業を実施いたしました。主な事業としまして、商工会への補助事業のほか、信用保証料の助成を実施しております。

次に、74ページをお願いいたします。

3目 観光費でございます。前年度比約313万円の増額でございます。増額の主な理由は、二村山展望台周辺樹木剪定費用の発生に伴い、市観光協会への補助金が増額したためでございます。また、主な事業としましては市観光協会への補助で、甲冑製作教室やイルミネーション事業などに対する助成をいたしました。

次に、75ページでございます。

4目 消費者行政推進費です。前年度比約42万円の増額です。この主な理由でございます。成人年齢引下げに伴い、若者の消費者トラブル、消費トラブルを防ぐために啓発資材を購入をいたしました。また、主な事業としまして、消費生活相談事業のほか、消費者保護対策として悪質商法等に対する対処方法などの出前講座を開催し、消費者被害に遭わないための周知啓発に努めました。

以上で7款の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。

7款 商工費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の72ページの2、企業誘致の辺りです。（1）のところに柿ノ木工業用地に分譲申込み云々って書いてあります。こちらに分譲申込みがあった企業の数とその企業の評価や選定の概要が分かればお願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷産業支援課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらに関しては14社の申込みがありまして、今の段階では8社が内定しております。あと、評価の内容ということでございますが、こちらは審査自体はあくまで企業庁のほうで行っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の内定されてる8社、8事業者というのはどのような業態というか、事業者なのかというのは話せますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 製造業です。

終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 73ページ、商工振興費、2番、商工会に対して補助金を交付し、育成指導を行い、経営改善の強化ということなんですけど、これはどのような経営改善になったんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 市内全ての中小企業において経営指導等を行っておりますので、個別のそういった案件については、申し訳ございません、承知しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その4番です。地域全体の魅力を高めということで、商工会に対して事業費を補助、1番、軽トラ市の実施、2番、謝恩セールの商品券配布、3番、求職者による職業紹介です。この3つの予算の内訳、教えてもらえますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 軽トラ市が約25万、年末謝恩セールが約170万、以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） よろしいですか。

（いいですよの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） いいですか。今の答弁は予算じゃなくて決算でよろしかったですかね。

（申し訳ありませんの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 軽トラ市が12万1,635円、年末謝恩事業が82万873円、以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） それが決算額ということでよろしかったですか。

○産業支援課長（塚谷友昭君） はい。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の73ページの商工業振興補助事業、地元応援割引券についてなんですけど、これを実施することによって地域経済の活性化を図ったとあるんですけど、これの経済効果の検証がされたのかどうかということと、あと、費用対効果がどれだけあったのかということをお願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらの事業につきましては第2弾ということで、令和2年に続いて2回目の事業でございました。換金率も86%で、こちらに記載がございましたけど、一番下、換金の負担金、これが使われた枚数掛ける200円券の合計額になるんですけど、こちらは300円に対して200円の券が使えるということになっておりますので、実質経済効果としましては市内で約8,900万円の経済効果があったというふうに考えております。

あと、検証でございますが、市内の事業者のほうからは売上げが伸びただとか、一定の効果があったというアンケート結果をいただいております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書72ページの2、企業誘致の（3）の再投資促進補助ですけども、2社、事業認定したというふうにあるんですが、決算に数字が載ってないんですけど、これは今年度補助が発生すると、そういう理解でいいですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 委員おっしゃるとおりで、令和4年度に認定を行いまして、予算、実際の補助金については、今年度、令和5年度に予算がついております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 73ページ、6番目、市内の従業員の住居を目的とした社宅を新たに建設した事業者にとすることで、この事業者というのは商工会なのか、こういった条件の事業者になるのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 商工会とかではなくて、通常の企業さんになります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 72ページの一番下の創業支援ですけども、このセミナー、年4回開催して21名の参加があったとあるんですが、実際に創業された方というのは何名かって把握されてますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 実際の創業者については把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 74ページの3目 観光費、こちらの事業内容のほうで二村山展望台周辺樹木剪定と新しいものが入って、去年と比べるとこの事業で320万増えてるんです

けど、これが剪定の費用になるのでしょうか。あと、甲冑製作の教室だとかイルミネーション、ここら辺の市の補助の割合、お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 二村山の展望台周辺樹木剪定については297万円、甲冑製作教室につきましては59万円、イルミネーションにつきましては162万9,300円でございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 74ページの商工業の振興預託事業ですけれども、2の商工組合の中央金庫からということで預託ですけど、この貸出しの実行数がかなり増えてます、昨年と比べると。5件から82件、金額もすごい増えてるんですけども、その理由は何なんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらは支店の統合による増ということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 75ページの観光事務事業の2番目のサムライ・ニンジャフェスティバルとか、にっぽん城まつり等って書いてあるんですが、これは何か所出展したんでしょうか。あと、この人たち、費用というのはかかるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） すみません、もう一度お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） もう一度お願いします。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 観光事務事業の2番目のサムライ・ニンジャフェスティバル、にっぽん城まつり等への出展ってあるんですけど、等と書いてあるので、ほかに何か所か行ったんでしょうかという質問と、あと、この人たち、費用とかそういうのってかかるんでしょうかということですけど。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） すみません、これ以外にもイベントには確かに出かけております。ちょっと個別にはここで今手持ちがないんですが、あと、費用については、観光協会は職員が兼務しておりますので、通常の間外等で対応しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 4目の消費者行政推進、これっていいんですか。これ、いいですかね。1番の消費生活相談員の謝礼174万円、これは何人分になるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 4人です。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 実績報告書のページ数は73ページかな、商工業振興預託事業の1番の（1）の保証承諾状況についても令和3年度以前に比べると件数が増加しておるようですが、どういった状況か分かるでしょうか。74ページだ。失礼しました。失礼しました。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 質疑、もう一度お願いします。

○郷右近 修委員 74ページの上の部分で商工業振興預託事業の1番の（1）保証承諾状況について件数が40件ということで、令和3年度以前に比べると件数が増えていると思いますが、どういった状況からこのような変化があるのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） こちらにつきましては、コロナ等ではなくて通常の企業さんの運転資金、設備投資の資金になりますので、令和3年度に比べて令和4年度は企業活動が活発になってきたのかなというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 郷右近委員。

○郷右近 修委員 一応、商工業と一くくりなので、このまちの例えば製造業、先ほど見たように製造業とか、あとはサービス業も含まれるものが対象なんだと思うんですけど、そういう分野ごとの特徴なんかはあるんでしょうか。どこがはやってるかみたいなの。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 申し訳ございません、資料を持ち合わせておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中堀委員。

○中堀りゅういち委員 この保証承諾件数とか全て含めてなんですが、これを決定するのは県ですか、市ですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） この40件につきましては、市のほうで書類を確認するということになります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 74ページの観光費、先ほどの二村台の樹木剪定なんですけど、297万円、これ、業者はどういった業者になるんですか。1社なのか、何社か。あと、どのような業者というか、よろしくをお願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 1社になります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 75ページの消費者行政推進費で相談件数214件ということですけども、これ、相談して消費者トラブル、解決されたとか、そういったことは確認されているのかということと、あと、相談に来る方がどのぐらいの年代の方が多いとかというのは把握されているのか。65歳以上がどれくらいいるとか、どうでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） ちょっとお待ちください。

全国的に見ても、豊明市もそうなんですが、65歳以上、特に70歳以上の方の問合せが比較的多いございます。あと、相談内容によっては相談員の方がそういった業者のほうに問合せを行って、件数自体はちょっと把握はできていないんですが、解決に至ったケースも多々ございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連です。消費者の相談です。214件、これ、窓口にいちゃった方と電話相談と、メール相談もあるんですけど。214件の内訳、分かりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

塚谷課長。

○産業支援課長（塚谷友昭君） 電話が162件で、メールはないんですが、窓口が52件となります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） これにて7款 商工費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午後4時37分休憩

午後4時39分再開

○決算特別委員長（清水義昭議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、8款 土木費について説明を願います。

伊藤経済建設部長。

○経済建設部長（伊藤正弘君） それでは、8款 土木費の決算の概要を実績報告書に基づき説明をさせていただきます。

76ページをお願いいたします。

1項1目 土木総務費です。前年度比約320万円の減額です。主な理由は人事異動に伴うものです。

2目 維持管理総務費です。前年度比ほぼ同額でございます。主な事業は、道路台帳の補正業務を実施いたしました。

2項1目 道路維持費でございます。前年度比約5,700万円の増額です。主な理由は、県道名古屋岡崎線側道の市道用地買収に係る用地購入費によるものです。主な事業としましては、調査測量委託業務等で橋梁定期点検業務委託及び道路等維持修繕工事費で道路施設の修繕工事を実施いたしました。

次に、77ページをお願いいたします。

2目 道路新設改良費でございます。前年度比約3,200万円の増額です。主な理由は、道路新設改良舗装工事費の増額によるものでございます。区長要望工事を中心に合計24件の

道路施設改修工事等を実施いたしました。

3目の交通安全施設費でございます。前年度比約670万円の減額です。主な理由は、令和元年度に行った緊急点検による交通安全対策工事が完了したためでございます。主な事業は交通安全施設整備工事を51件実施いたしました。

次に、78ページをお願いいたします。

3項1目 河川新設改良費でございます。前年度比約9,800万円の増額です。主な理由は、寺池土地区画整理事業に伴い、既設排水路の付け替え工事の実施をいたしました。主な事業は、河川改修工事費としまして沓掛町寺池地内にて排水路設置工事を実施いたしました。

2目 河川維持費でございます。前年度比ほぼ同額でございます。ここの主な事業としては、準用河川井堰川において河川しゅんせつ工事を実施いたしました。

4項1目の都市計画総務費でございます。前年度比約1,441万円の減額でございます。主な理由は、人件費が減少したことと令和3年度に大規模盛土造成地変動予測第2次スクリーニング計画作成業務を行いました。令和3年度の決算額が多かったことによる減額でございます。ここの主な事業は、建築開発等の受付調査、屋外広告物審査、木造住宅耐震診断補助、木造住宅耐震改修補助、空家等対策推進補助で、耐震診断は24件、耐震改修補助は6件、空家解体補助は3件の実績でございます。

次に、80ページをお願いいたします。

2目の市街地開発費でございます。前年度比約6,400万円の減額でございます。減額の理由としては、寺池土地区画整理組合に補助金が前年度比で6,000万円相当減額したことに伴うものでございます。

3目 街路事業費でございます。前年度比約1,202万円の減額でございます。この主な理由は、令和3年度に県道名古屋岡崎線に接続する桜ヶ丘沓掛線と大根若王子線の道路予備設計業務を行い、令和3年度の決算額が多かったことによるものでございます。ここの主な事業は街路用地の維持管理となります。

4目の公園事業費でございます。前年度比約1,598万円の増額でございます。この主な理由は、三崎水辺公園の基本設計を行ったこと、遊具の改修工事を行ったことによるものでございます。ここの主な事業は二村山緑地整備、公園施設改修、公園施設維持管理で、令和4年度は荒井公園のリノベーション工事を行いました。また、公園管理施設改修工事では公園管理事務所空調設備改修工事を行っております。これは令和5年1月5日に空調機が故障をしまして緊急工事を行ったもので、予備費から充用をさせていただいております。

次に、81ページをお願いいたします。

5目の都市下水路費、下水道事業会計繰出事業でございます。決算額が4億3,224万9,340円でございます。前年度比約7,300万円の減額でございます。これは下水道事業会計へ繰り出しをした負担金、補助金、出資金となります。まず、他会計負担金が国が示すいわゆる基準内繰り出しでございます。1億4,506万6,340円を下水道事業会計の3条予算と4条予算に繰り出しをいたしております。他会計補助金は3条予算に1億2,718万3,000円、他会計出資金のほうが4条予算に1億6,000万円、それぞれの繰り出しをしております。

続きまして、82ページをお願いいたします。

6目の都市改造費でございます。前年度比約456万円の減額でございます。これは有料駐車場事業特別会計繰出事業で、詳細については特別会計のほうで御説明いたします。

7目の緑化事業費でございます。前年度比約426万円の減額でございます。この主な理由は、民有地の緑化工事に対する補助の都市緑化推進事業で補助対象が少なかったことと消耗品費、花壇維持管理委託料の一部が指定管理の管理に変わったためでございます。主な事業は緑化対策事業で、フラワーボランティアや地域の皆様に市内の公園、駅前広場などに花苗の植栽と管理をしていただいております。

以上で8款の説明を終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 説明は終わりました。

8款 土木費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 76ページ、維持管理総務費、これの維持管理総務事務事業、これの三崎町社地内の土砂災害特別警戒地域における急傾斜地の崩壊を防止する対策ということでこれの負担金があるんですけど、これは県の事業だと思うんですけど、市の負担率をお願いしたい。

それと、あと、これってどのぐらいの設計的な安全が担保されるようであるんでしょうか。そこもできればお願いしたいです。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

星子土木課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらは県の事業で、市の負担率は10%となっております。

工事内容としては、急傾斜が崩壊されないように、のり枠をコンクリート吹きつけと鉄筋挿入工を行いまして崩壊を防止するものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の76ページ、2項の道路橋梁費、ここの下のほうに橋梁定期点検業務委託って書いてあるんですけども、この4橋の橋の場所が分かれば教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらの橋につきましては、まず、前後高架橋、茶屋浦跨線橋、三ツ池高架橋、坂畑橋、以上でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の橋梁の点検ですけども、この点検ではどのような点検を行うのかということと、この4橋で何か異常等はなかったということによかったですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらについては構造について近接目視を行いまして、構造物の腐食ですとか、亀裂ですとか、そういったものを確認いたします。今回の点検においては異常は認められませんでした。

終わります。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 報告書の77ページ、2目の道路新設改良費の件なんですが、区長要望工事等となっています。24件中、区長要望は何件で、例えばこの令和4年度、区長要望の工事依頼は何件あったんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 区長要望については18件ということになっております。令和3年度に区長要望があった件数は58件というふうになっておりまして、採択されたものが34件で、採択率は58%となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかに。

いとう委員。

○いとうひろし委員 今の答弁なんだけど、採択は24件だよ。34件って言われたような

気がしたんだけど。

○決算特別委員長（清水義昭議員） もう一度答弁をお願いします。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 区長要望が総数が58件で、採択は34件です。その年度に既に終わらせている件数も含めておりますので、34件ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 星子課長、18件というのは。

○土木課長（星子恭士君） 18件というのは、下にございます道路側溝改良工事13件、道路改良工事5件、これを合わせて区長要望で行っております。先ほど申し上げたのは令和3年度の区長要望の総件数を申し上げました。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 報告書の78ページの一番下のところなんですけど、建築基準法の許可申請とか確認申請の件なんですけど、これ、違反建築、開発の調査及び指導の同行を行ったってあるんですけど、この結果、用途の違反とか、建築違反とか、そういったものはあったんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中野都市計画課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 違反建築とか指導というものに対しては県のほうが行っておりますので、市のほうではこの場ではちょっとお答えすることができません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 78ページ、河川費の1目 河川新設改良費、3番の河川水位システム使用料、これはどのような水位システムになってるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） こちらは市内6か所に水位計が設置されておまして、その水位計をホームページで公開しております。それをクラウドで表示しておりますが、そのクラウドのシステム使用料ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書76ページの維持管理総務費の道路台帳管理ですけども、今回の道路台帳補正で何路線で補正したのかということと、増減はどのような増減になっているか、お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 道路台帳の更新につきましては、77路線の5.7キロというふうになっております。あと、道水路の公図修正を190か所行っております。増減というのがどういうことかちょっと分かりませんので、お願いいたします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 さっきの5.7キロというのは、延びたのか、短くなったのか、どちらですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） 5.7キロ分の道路台帳の補正を行っているということです。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 80ページの上の空家等対策推進補助事業事務、倒壊のおそれのある危険な空き家ということで、これは誰がどのように判断するのでしょうか。判定するのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 職員が現場を見まして判断しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 その工事に要する費用の一部の補助、この補助率はどのような率なのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 工事の5分の4、かつ50万円が限度としております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 先ほど質問した件で、ページ数78、78ページの一番下のところ、これ、先ほどお答えいただいて、県のほうが調査しているので結果は分かりませんということだったんですけど、ここにあるのは違反建築、開発の調査及び指導のところに行くとあるので、指導したときには同行してるはずなのでお聞きしたんですけど、これに関してはどういってお答えになりますか。同行したときに指導があったとか、分かるはずなんですけど。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 先ほども申しましたとおり、愛知県のほうが違反建築物の指導等を行っておりますので、権限等が愛知県にあります。ですので、その権限の中で愛知県さんのほうも指導をしております、私ども、そちらの権限がありませんので、その内容について公開することはできないということでお答えさせていただきました。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 79ページの下のところなんですけど、木造住宅の耐震診断、あと、改修、除去費の補助ですけども、たしか該当が5,440件あったかと思うんですが、これ、令和12年までにほとんど解消するというような話だったかと思いますが、今回24件、こっちの耐震の補助で24件、改修のほうで6件、除去で10件ということですが、これで現状どれぐらいできているんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 現在の耐震化率はどのぐらいだという御質問だと思うんですが、令和4年度の耐震化率のほうは算出しておりませんので、現状どのぐらいの率になっているのかというのは把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 81ページ、2、公園施設改修事業、その（2）荒井公園のリノベーション工事ということなんですけど、どのようなリノベーションをしたんでしょうか。内容をお願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらのリノベーションの内容です。まず、既設の撤去をトイレ、ブランコ、鉄棒、砂場、シーソー、ベンチ3基を撤去しております。その上で新たに設置したものとしまして、複合遊具が1基、4連ブランコが1基、3連鉄棒が1基、砂場が1基、ベンチが3基、新たに設置しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 今の砂場なんですけど、猫とかが嫌がるような、そういった砂になっているんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 砂場については普通の砂を使っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 今の同じところで、今の荒井公園、当初予算が1,155万だったと思うんですね。今言われたような砂場とか、遊具とか、4連のその辺が加わったものでちょっと値段が上がったという理解でいいですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 昨年度、皿池公園のリノベーションを行ったんですが、そのときの予算というか、決算のほうは1,180万円ほどになっております。今回280万円ほど増額になっておるんですけど、そちらの理由としましては、トイレの撤去を行ったということから増額となっております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 実績報告書の81ページの公園施設改修事業の（3）公園管理施設改修工事、ごめんなさい、3の公園施設維持管理事業の（1）樹木剪定、草刈委託とありますけれど、これは指定管理の公園事業とは違う内容の樹木剪定なのでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらのほうは、指定管理のほうが管理しております草刈りや剪定については、都市公園の草刈り、剪定になります。今回こちらのほうでやっておりますのが市民緑地のほうの草刈りや剪定というものになっております。それと、あと、そのほかにも勅使台東公園でのり面の伐採等を行っておりますので、そちらのほうは指定

管理の行わない維持管理費ということで市のほうで作業を行っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） まだまだたくさん質疑がありますか。一応8款終了まで行きたいと思えますけど、よろしいですか。

（異議なしの声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 異議ないですね。じゃ、8款終了まで行きますね。引き続き質疑のある方は挙手願います。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の138、139です。138、139にずらっと並んでおります。下の市民コーナーのところでは判明しなかった部分があるんですけども、いろいろなこのつづりです。5つあったんですが、それについてちょっとお聞かせください。

8款 土木費の1目 道路維持費のナンバーの1と10、入札の随意契約だとか、指名競争だとかという枠がないので分からないのでお願いします。

続いて、2目 道路新設改良はありました。

右のページの3目 交通安全施設のところはナンバー4のところ、あと、最後、4項4目の公園事業費の一番下のナンバー4、大蔵池公園、この5点の契約種別というんですか、お願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ふじえ委員、4点、5点。

○ふじえ真理子委員 私、今、1、2、3、4、5。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 4点しか恐らく質疑がなかった。

○ふじえ真理子委員 ごめんなさい、138ページ、一番上、1目 道路維持費は、左のちっちゃなナンバーでいうと……。

（1番と10番の声あり）

○決算特別委員長（清水義昭議員） 1、10。

○ふじえ真理子委員 ごめんなさい、9も。1、9、10でした。全部で5点。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 5点。

答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 139ページの4項4目の公園事業費の4番、公園管理事務所空調設備改修工事、こちらのほうは随契5号で契約のほうを行っております。こちらのほうは令和5年1月5日の日に空調機のほうが故障をしまして、緊急性があるということで随契の5号で契約しております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 星子課長。

○土木課長（星子恭士君） まず、138ページの道路維持費、1番、道路排水路改修工事につきましても、緊急の5号でやっております。この理由としましては、民地内に排水路が入っていたということが判明いたしまして、まず、その対応として仮設をこの業者さんをお願いしたことから、この業者の随5というふうで契約をしております。

続きまして、9番、冠水表示盤取替え工事につきましても、こちらは随の6ということで、維持管理の項目に入っておりますので、年間の維持管理に入っておりますので、この業者をお願いしております。

続きまして、10番、こちらについても年間の管理範囲に入っておりますので、随の6をお願いしております。

続きまして、139ページの4番、路面標示設置工事、こちらにつきましても指名6者で行っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

こんどうのぶお委員。

○こんどうのぶお委員 82ページ、7目 緑化事業費、6番の勅使水辺公園でグリーンフェスタ in 勅使水辺公園の開催75万6,180円、これの内訳をお願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 後ほどお答えいたします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 81ページの真ん中の公園の指定管理の1億1,740万ですけども、この指定管理料の何に使われたかという主な内訳はわかりますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 指定管理料の内訳というものになりますと指定管理の事業者様の持ち得る情報となりますので、非公開ということでさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 では、今回この令和4年度の草刈りの剪定の時期とか頻度とか、そういうものが令和3年度と何か違っていたりとか、回数とか、その時期、そういうのはあ

ったんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 草刈りについては、昨年度、スタートが遅かったということの反省から、今年度は早く作業をするということで行っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今年度はということなんですけど、昨年度の市はそういった草刈り等ができていのかどうかというのは、どのぐらい巡回、市としてどのぐらい巡回されていたのかということと、それに対して市としての評価はどのように評価しておられますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） すみません、昨年度の草刈りの内容ということでしたので、すみません、昨年度は草刈りは3回行っております。ただ、スタートが遅れたため、市民の皆さんにちょっと御迷惑をおかけしたところは反省としてあります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員、もう一度お願いします。

○林 ゆきひろ委員 まず、3回というのは全公園を3回やっているということなのかということと、それは令和3年度と比較して同じ回数なんですか。どうでしょう。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 全公園3回行っております。令和3年度、市が委託していた回数も3回となっております。中には場所によっては4回行っているところもありますので、そちらのほうは指定管理のほうも4回行っております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 市はどの程度、どういう頻度で巡回というのはされてますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 市のほうは毎週1回、公園のパトロールをしておりますので、全部の公園を回るのには大体1か月ほどかかると思います。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 公園の指定管理については、委託事業者に事業を委託するという趣旨

の中でも、市が直営でやる以上にこの分野に特化して事業を行っている業者の知見とか、様々な技能を生かすという趣旨があったと思うんですが、雑草を刈ったりというようなところも時期的に早く始めるという以外に、そもそも問題として省力化でどういう工夫があるとか、生えにくくする何かそういうような工夫というのは令和4年度の課題を通じて何か提案されているようなことというのはあるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 指定管理者のほうの提案内容としましては、直営の維持管理スタッフによる草刈りを行うよと。それと、あと、委託で草刈り作業を行っていくというような御提案でした。ただ、令和3年度につきましては、維持管理スタッフのほうの募集が間に合わないというところがありまして、その分を委託で補ったという点があります。その関係で令和3年度のほうは作業のほうが少し遅れぎみになったと。

（令和4年度の声あり）

○都市計画課長（中野忠之君） 令和4年度のほうは作業が遅れぎみになったという点があります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じ指定管理のところですけど、何に使われてるか分からないということですけど、この指定管理業者が昨年度、地元の事業者にどれくらい頼んだのかとか、シルバーさんにどれくらい頼んだのかとか、そういったものは把握されていますか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 市のほうには報告が上がってきております。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それは幾ら頼んだのかとか、そういうことは説明できませんかね。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 市のほうに上がってきているのは、下請でどの業務をどういった業者に下請させるかというのが市のほうに報告が上がってきておりまして、幾らその事業者に請け負わせたという報告のほうはうちのほうに上がってきてないもので、ちょっとお答えすることができません。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 先ほど、グリーンフェスタの内訳ということで御質問がありましたので、お答えいたします。

会場設営の費用で45万1,000円、警備の委託が6万6,000円、ハンギングセミナーですとか、あと、リース作りの消耗品のほうで13万4,000円ほど、それと、あと、看板の作製費が4万6,000円ほど、あと、植付け体験用の花苗のほうが9,200円ほどかかっております。大まかなものはそういったものになります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 三崎水辺公園の話でしたね。

○都市計画課長（中野忠之君） 三崎水辺公園のグリーンフェスタの内訳になります。

（勅使の声あり）

○都市計画課長（中野忠之君） すみません、勅使水辺公園のグリーンフェスタの内訳でございます。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 失礼しました。勅使水辺公園。よろしいですかね。

ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 82ページの緑化事業の（7）の推進事業の2件の内訳を教えてください。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） こちらのほうは個人の方が住宅のお庭に緑化をするための費用ということで申請のほうが出てきております。1件が75万4,000円と、もう一件が157万円の申請になっております。2分の1の補助を出しております、事業費の。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の80ページの一番上です。これは毎年お聞きしてるんですけども、親との同居近居の購入補助ということで273件ありましたが、市内から市内に移られた方と市外から市内へ転入された方の件数をお願いします。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 中野課長。

○都市計画課長（中野忠之君） 親との同居近居のほうで令和4年度については273件申請がありまして、そのうち1年目の申請者の数が90件ありました。その90件のうち市外から

転入されてきた方が38件、市内の方が52件になります。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 80ページ、市街地開発費の件です。寺池の区画整理で資料で頂いてますけど、5,000万補助金で出てますけども、中京競馬場からの、日本中央競馬会からの環境整備費、これ、実績報告書28ページのところを見ると2億4,130万の寄附で寺池のほうに充当したと書いてあるんですが、今回この5,000万のうち中央競馬からどれぐらい充当されてるんでしょうか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 答弁願います。

浦財政課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 充当という記載はしておりますが、J R Aの環境整備は一般財源で頂いている寄附になります。総額、事業もこの事業だけではなくて、この額を大幅に超えるようなものを申請しておりますので、一個一個に幾ら充当しているという整理ではないというところがございます。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー2の④、これの要綱1、2を見ると道路交通安全施設等の整備というふうにあるんですけど、寺池地区のこの補助金の充当というのは、第1とか、第2とか、どちらに当たるのか。どこにもこれには書いてないんですけど、どれに当たるんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） ここでは主なものを記載させていただいております。主要施策に書いてあるものはそこで書いてありますので、それ以外のものを記載をさせていただいております。第2要綱に寺池のほうは該当いたします。

以上です。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 道路と交通安全施設と書いてあるけども、区画整理のそういうのにも充当できるという要綱になってるんですか。

○決算特別委員長（清水義昭議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 御指摘のとおりです。

○決算特別委員長（清水義昭議員） ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○決算特別委員長(清水義昭議員) これにて8款 土木費の質疑を終わります。

これにて本日の委員会を終了いたします。

9月11日午前10時より委員会を再開し、本日の続きから審査を行いますので、よろしく
お願いいたします。長時間御苦労さまでした。

午後5時19分閉議